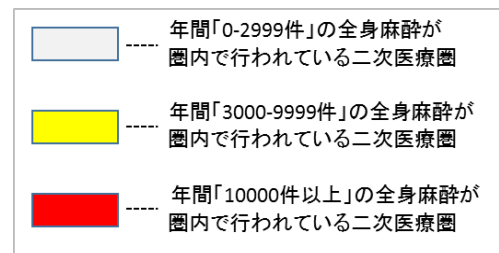


# 30. 和歌山県

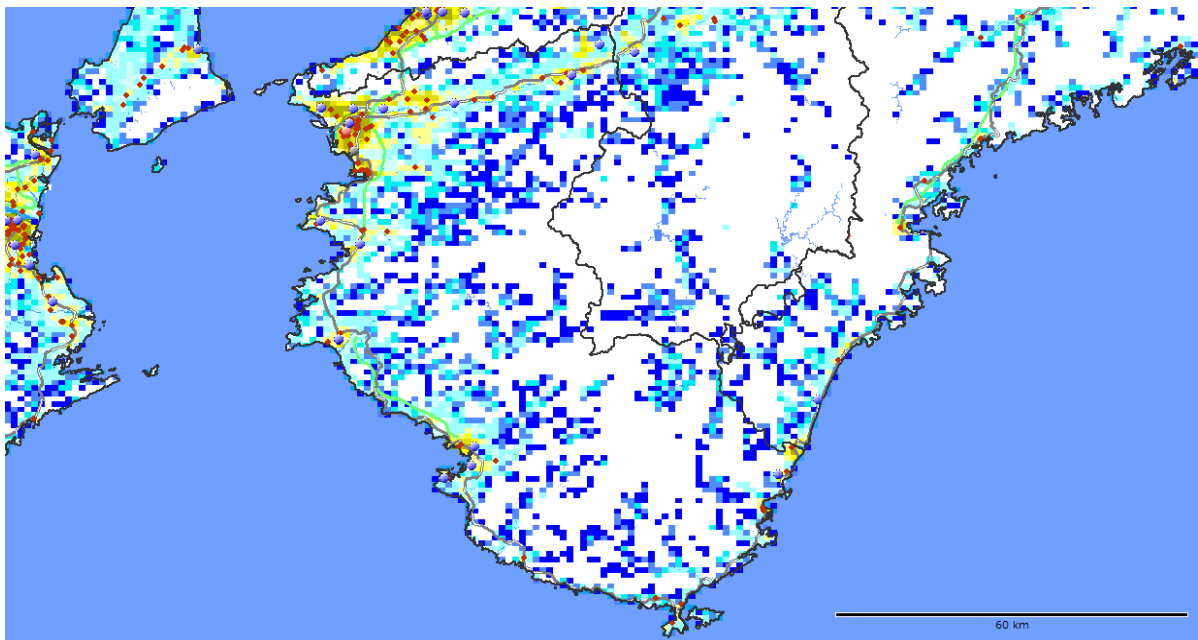


目次

和歌山県	30	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	30	-	8
1. 和歌山医療圏	30	-	20
2. 那賀医療圏	30	-	25
3. 橋本医療圏	30	-	30
4. 有田医療圏	30	-	35
5. 御坊医療圏	30	-	40
6. 田辺医療圏	30	-	45
7. 新宮医療圏	30	-	50

# 30. 和歌山県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## （和歌山県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 和歌山県は、総人口約961千人（2015年推計）、面積4726km<sup>2</sup>、人口密度は203人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 和歌山県の総人口は2025年に869千人へと減少し（2015年比－10%）、2040年に719千人へと減少する（2025年比－17%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の153千人が、2025年にかけて184千人へと増加し（2015年比＋20%）、2040年には173千人へと減少する（2025年比－6%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 和歌山県の一人当たり医療費（国保）は319千円（偏差値50）、介護給付費は299千円（偏差値62）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 和歌山県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.18で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56（病院医師数53、診療所医師数59）と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 和歌山県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、14876人（75歳以上1000人当たりの偏差値49）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9795床（偏差値54）、高齢者住宅等が5081床（偏差値46）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、12940人（75歳以上1000人当たりの偏差値57）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホーム52、グループホーム50、サ高住56である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員（在宅）の合計は、4248人（75歳以上1000人当たりの偏差値76）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

和歌山県の総人口は、2005年1035969人が、2015年に961378人と7%減少し、2025年の人口が869182人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

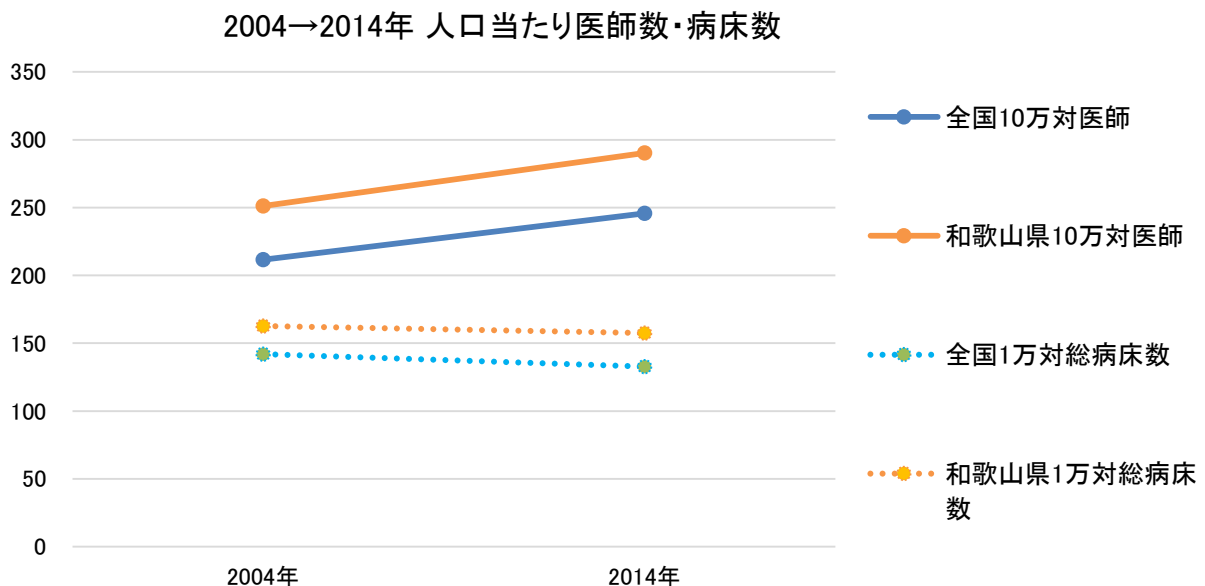
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が92(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に86(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が1084(人口10万人当たり105診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2014年に1070(人口10万人当たり111診療所(全国平均79)偏差値66)と、14診療所が減少した。

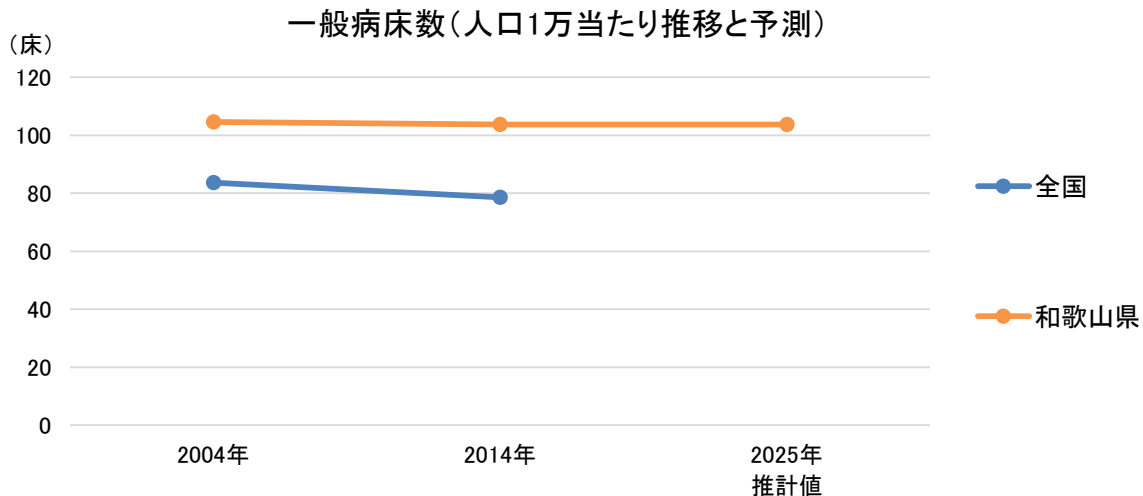
2004年の総病床数が16846床(人口1万人当たり163(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に15136床(人口1万人当たり157(全国平均133)偏差値54)と、1710床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2602人(人口10万人当たり251人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2014年に2791人(人口10万人当たり290人(全国平均246人)偏差値55)と、189人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



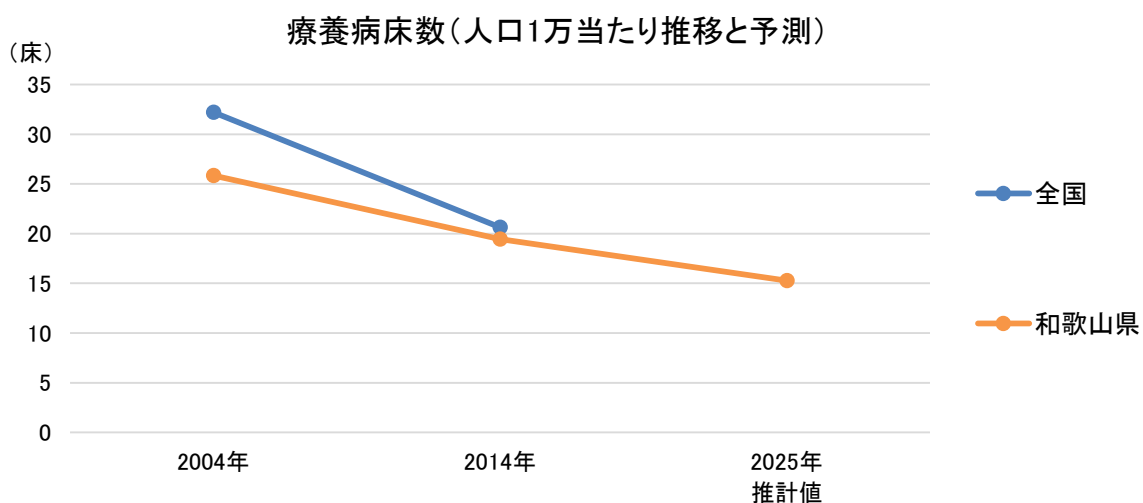
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が10837床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に9967床(人口1万人当たり104(全国平均79)偏差値59)と、870床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9010床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



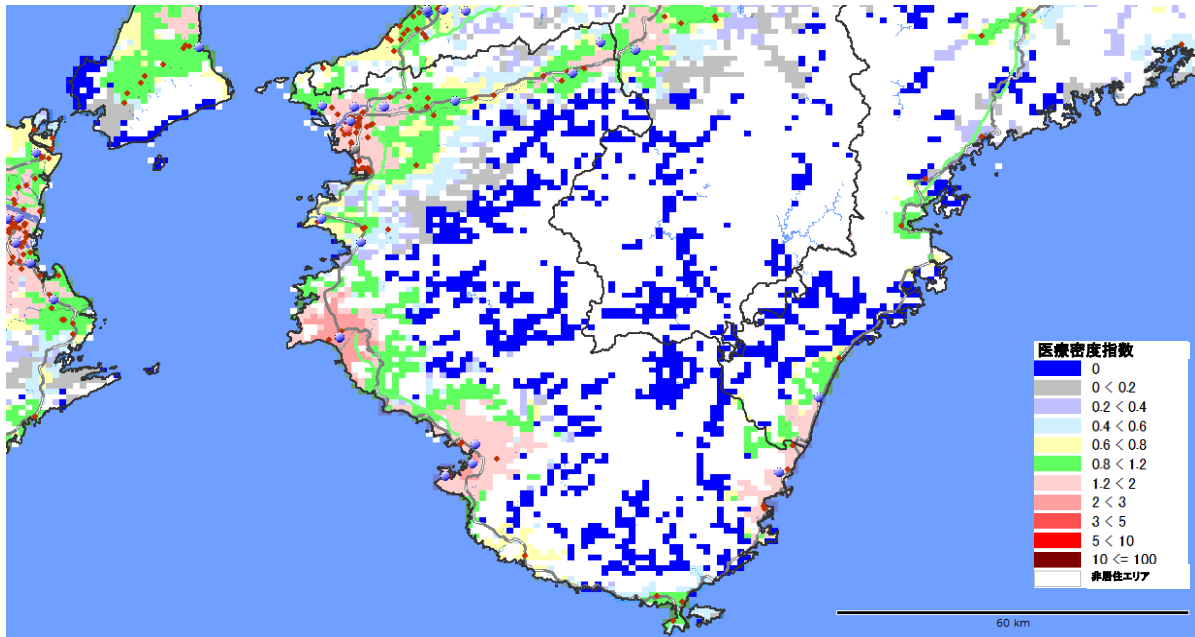
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3108床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に2965床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、143床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2808床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

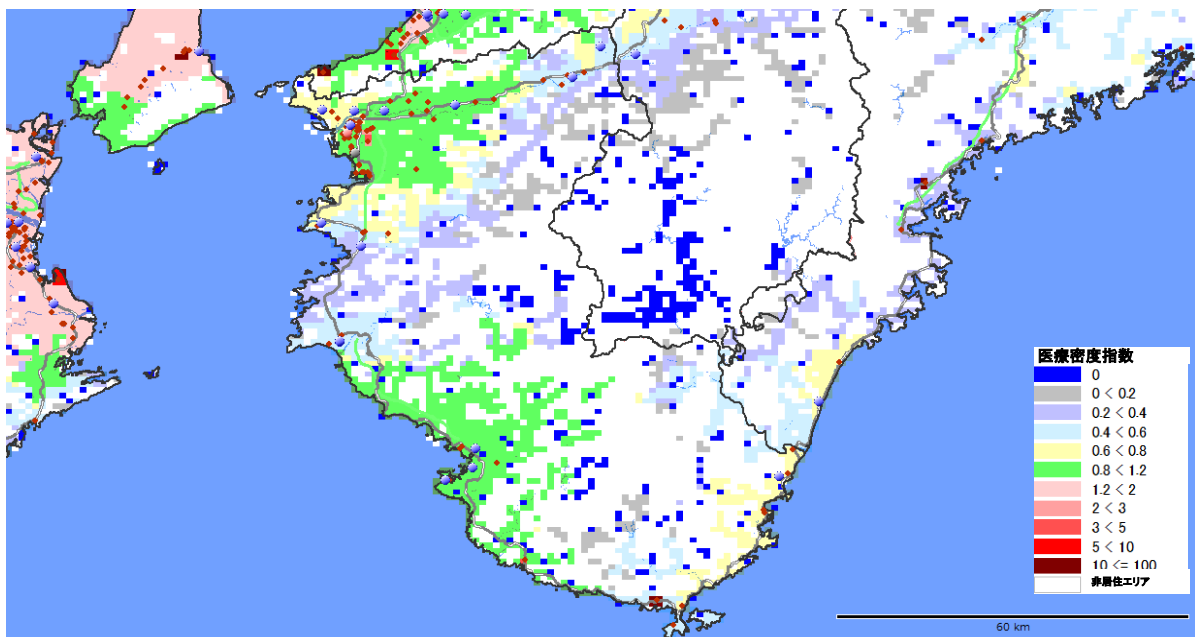


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-2 慢性期医療密度指数マップ



30. 和歌山県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 30-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
和歌山県	961	40位	4,726	30位	203.4		31%	869	719	153	184	173	-10%	-17%	20%	-6%
和歌山	421	44%	439	9%	959.6	地方都市型	31%	384	321	64	79	72	-9%	-16%	23%	-9%
那賀	117	12%	267	6%	438.1	地方都市型	26%	111	97	15	19	21	-5%	-13%	27%	11%
橋本	89	9%	463	10%	191.5	地方都市型	31%	79	63	14	17	17	-11%	-20%	21%	0%
有田	74	8%	475	10%	156.1	過疎地域型	32%	65	52	13	14	14	-12%	-20%	8%	0%
御坊	64	7%	579	12%	110.1	過疎地域型	32%	57	47	11	12	12	-11%	-18%	9%	0%
田辺	129	13%	1,580	33%	81.5	過疎地域型	32%	116	96	22	25	24	-10%	-17%	14%	-4%
新宮	68	7%	923	20%	73.8	過疎地域型	40%	58	43	15	16	13	-15%	-26%	7%	-19%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 30-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
和歌山県	1.24	1.18	-19.7%	-12.9%
和歌山	1.44	0.79	-32.7%	-21.2%
那賀	0.86	0.46	-43.2%	-55.2%
橋本	0.93	0.89	-26.7%	-24.0%
有田	0.58	0.34	4.7%	9.8%
御坊	1.73	1.77	9.4%	13.1%
田辺	1.34	1.91	-8.1%	-4.9%
新宮	1.09	1.28	-20.3%	0.8%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 30-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
和歌山県	319	50	0.981	299	62
和歌山	339	55	1.028	306	64
那賀	307	47	0.979	272	55
橋本	335	54	1.005	306	64
有田	303	46	0.992	286	59
御坊	309	48	0.995	298	62
田辺	280	41	0.916	311	66
新宮	327	52	0.976	286	59
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 30-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
和歌山県	86	1.0%	8.9	55	1,070	1.1%	111	66
和歌山	45	52%	10.7	60	522	49%	124	73
那賀	8	9%	6.8	50	107	10%	92	56
橋本	6	7%	6.8	50	93	9%	105	63
有田	6	7%	8.1	53	78	7%	105	63
御坊	4	5%	6.3	49	68	6%	107	64
田辺	9	10%	7.0	51	129	12%	100	61
新宮	8	9%	11.7	62	73	7%	107	64
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 30-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
和歌山県	1,070	1.1%	111	66	972	1.1%	101	65	98	1.2%	10.2	55
和歌山	522	49%	124	73	479	49%	114	72	43	44%	10.2	55
那賀	107	10%	92	56	95	10%	81	55	12	12%	10.3	56
橋本	93	9%	105	63	88	9%	99	64	5	5%	5.6	49
有田	78	7%	105	63	72	7%	97	63	6	6%	8.1	52
御坊	68	6%	107	64	62	6%	97	63	6	6%	9.4	54
田辺	129	12%	100	61	117	12%	91	60	12	12%	9.3	54
新宮	73	7%	107	64	59	6%	87	57	14	14%	20.5	71
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

30. 和歌山県（2016年版）

資\_図表 30-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
和歌山県	13,722	0.9%	1,427	54	1,414	1.3%	147	56	15,136	0.9%	1,574	54
和歌山	6,633	48%	1,576	57	611	43%	145	55	7,244	48%	1,721	57
那賀	1,214	9%	1,039	46	177	13%	151	56	1,391	9%	1,190	48
橋本	896	7%	1,010	45	94	7%	106	52	990	7%	1,116	46
有田	931	7%	1,256	50	81	6%	109	52	1,012	7%	1,366	51
御坊	1,011	7%	1,585	57	94	7%	147	56	1,105	7%	1,733	57
田辺	1,760	13%	1,367	53	162	11%	126	54	1,922	13%	1,493	53
新宮	1,277	9%	1,873	63	195	14%	286	69	1,472	10%	2,159	65
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 30-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
和歌山県	8,736	1.0%	909	59	2,782	0.8%	289	51	2,099	0.6%	218	48
和歌山	4,584	52%	1,089	67	1,163	42%	276	51	825	39%	196	47
那賀	660	8%	565	44	329	12%	282	51	221	11%	189	46
橋本	708	8%	798	54	64	2%	72	41	120	6%	135	44
有田	382	4%	516	42	245	9%	331	53	300	14%	405	56
御坊	836	10%	1,311	76	51	2%	80	41	100	5%	157	45
田辺	1,009	12%	784	53	549	20%	426	58	198	9%	154	45
新宮	557	6%	817	55	381	14%	559	64	335	16%	491	60
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 30-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
和歌山県	721	1.0%	75	54				
和歌山	409	57%	97	59				
那賀	94	13%	80	55				
橋本	90	12%	101	60				
有田	40	6%	54	50				
御坊	39	5%	61	51				
田辺	49	7%	38	46				
新宮	0	0%	0	38				
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 30-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
和歌山県	6,863	5,526	494	6,845	3,206	2,278	63.3%	55	17.8%	54
和歌山	2,801	2,486	114	3,819	2,085	1,049	54.4%	51	9.8%	50
那賀	440	436	0	774	224	329	66.1%	56	0.0%	46
橋本	404	400	0	492	269	103	59.8%	53	0.0%	46
有田	641	257	80	290	135	155	65.6%	56	34.0%	61
御坊	729	605	0	282	231	51	72.4%	58	0.0%	46
田辺	1,264	862	200	495	150	345	85.2%	64	36.7%	62
新宮	584	480	100	693	112	246	81.1%	62	28.9%	59
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 30-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
和歌山県	20,772	0.7%	2,161	49	7,584	0.7%	789	49
和歌山	13,008	63%	3,090	58	3,288	43%	781	49
那賀	1,380	7%	1,181	40	552	7%	472	38
橋本	1,392	7%	1,569	44	1,032	14%	1,163	62
有田	672	3%	907	38	300	4%	405	36
御坊	912	4%	1,430	43	600	8%	941	55
田辺	2,748	13%	2,135	49	1,056	14%	820	50
新宮	660	3%	968	38	756	10%	1,109	61
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 30-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
和歌山県	3,077	0.9%	320	56	1,811	0.9%	188	53	1,266	1.0%	132	59
和歌山	1,797	58%	427	67	1,145	63%	272	66	652	52%	155	66
那賀	232	8%	199	42	109	6%	93	39	124	10%	106	51
橋本	227	7%	256	49	107	6%	120	43	120	9%	135	60
有田	136	4%	183	41	64	4%	86	38	72	6%	97	48
御坊	168	5%	264	49	94	5%	148	47	74	6%	116	54
田辺	337	11%	261	49	193	11%	150	48	144	11%	112	53
新宮	181	6%	265	50	100	6%	146	47	81	6%	119	55
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

30. 和歌山県 (2016年版)

資\_図表 30-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
和歌山県	144	0.9%	15.0	54	111	0.9%	11.5	54	95	0.9%	9.9	54
和歌山	75	52%	17.8	58	64	58%	15.2	62	57	60%	13.5	64
那賀	14	10%	12.0	49	17	15%	14.5	60	6	6%	5.1	42
橋本	10	7%	11.3	48	4	4%	4.5	38	9	9%	10.1	55
有田	10	7%	13.5	52	3	3%	4.0	37	3	3%	4.0	39
御坊	12	8%	18.8	60	6	5%	9.4	49	4	4%	6.3	45
田辺	21	15%	16.3	56	12	11%	9.3	49	10	11%	7.8	49
新宮	2	1%	2.9	36	5	5%	7.3	44	6	6%	8.8	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 30-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
和歌山県	43	0.8%	4.5	51	76	0.8%	7.9	52	61	0.8%	6.3	52
和歌山	27	63%	6.4	61	50	66%	11.9	64	40	66%	9.5	64
那賀	4	9%	3.4	47	2	3%	1.7	32	8	13%	6.8	54
橋本	2	5%	2.3	41	8	11%	9.0	55	2	3%	2.3	36
有田	1	2%	1.3	37	6	8%	8.1	52	3	5%	4.0	43
御坊	1	2%	1.6	38	1	1%	1.6	32	3	5%	4.7	45
田辺	5	12%	3.9	49	7	9%	5.4	44	4	7%	3.1	39
新宮	3	7%	4.4	51	2	3%	2.9	36	1	2%	1.5	33
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 30-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
和歌山県	45	0.5%	4.7	45	175	0.9%	18.2	53	148	1.0%	15.4	57
和歌山	23	51%	5.5	47	94	54%	22.3	59	84	57%	20.0	67
那賀	1	2%	0.9	34	14	8%	12.0	44	10	7%	8.6	42
橋本	4	9%	4.5	44	12	7%	13.5	46	9	6%	10.1	46
有田	8	18%	10.8	62	6	3%	8.1	39	5	3%	6.7	38
御坊	2	4%	3.1	40	11	6%	17.2	52	15	10%	23.5	75
田辺	4	9%	3.1	40	29	17%	22.5	59	16	11%	12.4	51
新宮	3	7%	4.4	44	9	5%	13.2	46	9	6%	13.2	52
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 30-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
和歌山県	43	0.8%	4.5	50	66	1.0%	6.9	58	42	0.8%	4.4	51
和歌山	25	58%	5.9	57	39	59%	9.3	68	31	74%	7.4	61
那賀	4	9%	3.4	45	5	8%	4.3	47	2	5%	1.7	42
橋本	3	7%	3.4	45	8	12%	9.0	67	1	2%	1.1	40
有田	2	5%	2.7	41	1	2%	1.3	34	0	0%	0	36
御坊	1	2%	1.6	36	5	8%	7.8	62	2	5%	3.1	46
田辺	6	14%	4.7	51	6	9%	4.7	48	4	10%	3.1	46
新宮	2	5%	2.9	42	2	3%	2.9	41	2	5%	2.9	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 30-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
和歌山県	52	0.8%	5.4	51	8	0.5%	0.8	46	31	0.9%	3.2	54
和歌山	36	69%	8.6	61	4	50%	1.0	47	19	61%	4.5	61
那賀	4	8%	3.4	44	0	0%	0	37	2	6%	1.7	45
橋本	5	10%	5.6	51	1	13%	1.1	49	1	3%	1.1	41
有田	1	2%	1.3	38	0	0%	0	37	0	0%	0	35
御坊	3	6%	4.7	48	1	13%	1.6	54	1	3%	1.6	44
田辺	2	4%	1.6	38	2	25%	1.6	54	7	23%	5.4	66
新宮	1	2%	1.5	38	0	0%	0	37	1	3%	1.5	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 30-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
和歌山県	7	0.4%	0.7	43	32	1.4%	3.3	61
和歌山	5	71%	1.2	47	22	69%	5.2	76
那賀	0	0%	0	37	2	6%	1.7	49
橋本	1	14%	1.1	46	1	3%	1.1	44
有田	0	0%	0	37	1	3%	1.3	46
御坊	0	0%	0	37	2	6%	3.1	60
田辺	1	14%	0.8	44	3	9%	2.3	54
新宮	0	0%	0	37	1	3%	1.5	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

30. 和歌山県（2016年版）

資\_図表 30-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
和歌山県	9,611	0.9%	1,000	55	7,839	0.9%	815	54	1,771	0.9%	184	54
和歌山	4,897	51%	1,163	60	4,050	52%	962	60	847	48%	201	56
那賀	776	8%	664	43	589	8%	504	41	187	11%	160	51
橋本	634	7%	714	45	489	6%	552	43	144	8%	163	51
有田	593	6%	800	48	484	6%	654	48	109	6%	147	49
御坊	744	8%	1,167	60	618	8%	968	61	127	7%	199	56
田辺	1,303	14%	1,012	55	1,088	14%	845	55	215	12%	167	52
新宮	664	7%	974	54	522	7%	765	52	142	8%	209	57
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 30-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
和歌山県	1,075	0.9%	112	53	2,163	0.8%	225	50
和歌山	521	48%	124	56	1,231	57%	292	57
那賀	115	11%	98	51	191	9%	163	43
橋本	102	9%	115	54	196	9%	221	49
有田	62	6%	83	48	135	6%	182	45
御坊	99	9%	156	62	130	6%	204	48
田辺	136	13%	105	52	171	8%	133	40
新宮	41	4%	60	43	109	5%	160	43
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 30-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
和歌山県	166	1.1%	1.1	54	15	1.3%	0.1	55	131	1.4%	0.9	65
和歌山	90	54%	1.4	61	8	53%	0.1	59	62	47%	1.0	71
那賀	21	13%	1.4	62	4	27%	0.3	82	14	11%	1.0	71
橋本	22	13%	1.6	65	0	0%	0	39	12	9%	0.9	65
有田	3	2%	0.2	36	2	13%	0.2	64	7	5%	0.5	48
御坊	10	6%	0.9	50	0	0%	0	39	6	5%	0.5	48
田辺	11	7%	0.5	41	1	7%	0.0	46	21	16%	1.0	70
新宮	9	5%	0.6	44	0	0%	0	39	9	7%	0.6	52
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 30-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
和歌山県	14,876	0.9%	98	49	9,795	1.0%	64	54	5,081	0.8%	33	46
和歌山	6,464	43%	102	51	3,458	35%	54	46	3,006	59%	47	55
那賀	1,258	8%	87	42	951	10%	65	55	307	6%	21	38
橋本	1,243	8%	89	44	957	10%	69	57	286	6%	21	37
有田	1,334	9%	105	53	892	9%	70	58	442	9%	35	47
御坊	1,166	8%	105	54	954	10%	86	71	212	4%	19	36
田辺	2,228	15%	101	51	1,621	17%	73	61	607	12%	28	42
新宮	1,183	8%	81	39	962	10%	66	55	221	4%	15	34
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 30-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
和歌山県	3,447	1.0%	23	51	5,724	1.0%	38	54	624	0.9%	4.1	50
和歌山	1,379	40%	22	49	1,842	32%	29	45	237	38%	3.7	49
那賀	284	8%	20	46	570	10%	39	56	97	16%	6.7	56
橋本	357	10%	26	56	590	10%	42	59	10	2%	0.7	42
有田	292	8%	23	52	600	10%	47	63	0	0%	0	40
御坊	284	8%	26	56	660	12%	60	76	10	2%	0.9	42
田辺	553	16%	25	55	854	15%	39	55	214	34%	9.7	64
新宮	298	9%	20	47	608	11%	42	58	56	9%	3.8	49
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 30-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
和歌山県	479	0.2%	3.1	40	273	1.2%	1.8	52	1,775	0.9%	11.6	50
和歌山	412	86%	6.5	43	53	19%	0.8	47	950	54%	14.9	56
那賀	0	0%	0	37	0	0%	0	43	152	9%	10.5	48
橋本	0	0%	0	37	30	11%	2.2	54	108	6%	7.8	43
有田	0	0%	0	37	82	30%	6.4	74	162	9%	12.7	52
御坊	0	0%	0	37	50	18%	4.5	65	106	6%	9.6	46
田辺	67	14%	3.0	40	0	0%	0	43	198	11%	9.0	45
新宮	0	0%	0	37	58	21%	4.0	63	99	6%	6.8	41
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

30. 和歌山県（2016年版）

資\_図表 30-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
和歌山県	2,554	1.2%	16.7	56	167	1.3%	1.1	52	2,387	1.2%	15.6	56
和歌山	1,591	62%	25.0	68	53	32%	0.8	50	1,538	64%	24.2	69
那賀	155	6%	10.7	47	0	0%	0	45	155	6%	10.7	48
橋本	148	6%	10.6	47	6	4%	0.4	48	142	6%	10.2	47
有田	198	8%	15.6	54	94	56%	7.4	91	104	4%	8.2	44
御坊	56	2%	5.1	38	0	0%	0	45	56	2%	5.1	39
田辺	342	13%	15.5	54	14	8%	0.6	49	328	14%	14.9	54
新宮	64	3%	4.4	37	0	0%	0	45	64	3%	4.4	38
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 30-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
和歌山県	1,655	1.0%	10.8	55	1,140	1.0%	7.5	51	515	1.2%	3.4	60
和歌山	670	40%	10.5	53	436	38%	6.9	48	234	45%	3.7	63
那賀	171	10%	11.8	59	112	10%	7.7	52	59	11%	4.1	68
橋本	148	9%	10.6	54	101	9%	7.2	50	47	9%	3.4	59
有田	116	7%	9.1	47	86	8%	6.7	48	31	6%	2.4	48
御坊	121	7%	11.0	55	94	8%	8.5	56	28	5%	2.5	49
田辺	286	17%	13.0	64	207	18%	9.4	60	79	15%	3.6	62
新宮	142	9%	9.7	50	105	9%	7.2	50	38	7%	2.6	50
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 30-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
和歌山県	17,188	1.2%	113	68	12,940	1.0%	85	57	4,248	1.9%	27.9	76
和歌山	7,341	43%	115	71	5,208	40%	82	55	2,133	50%	33.5	86
那賀	1,546	9%	106	63	1,168	9%	80	53	377	9%	26.0	73
橋本	1,484	9%	107	63	1,187	9%	85	58	296	7%	21.3	64
有田	1,347	8%	106	63	1,165	9%	91	63	182	4%	14.3	51
御坊	1,265	7%	114	70	1,104	9%	100	70	161	4%	14.6	52
田辺	2,618	15%	119	73	1,962	15%	89	61	656	15%	29.7	79
新宮	1,589	9%	109	65	1,146	9%	78	52	443	10%	30.3	80
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 30-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
和歌山県	12,595	1.2%	83	56	6,076	1.5%	40	64	25,485	1.7%	167	74
和歌山	7,909	63%	124	69	1,937	32%	30	55	12,869	50%	202	86
那賀	1,181	9%	81	55	452	7%	31	56	1,852	7%	128	62
橋本	856	7%	61	49	749	12%	54	77	2,042	8%	147	68
有田	579	5%	45	44	273	4%	21	47	1,375	5%	108	56
御坊	445	4%	40	42	438	7%	40	64	955	4%	86	49
田辺	1,092	9%	49	45	1,660	27%	75	97	3,692	14%	167	75
新宮	533	4%	36	41	567	9%	39	63	2,700	11%	185	80

出典 平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 30-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
和歌山県		1,035,969	961,378	-7%	869,182	-16%	5%	-1%	4%
和歌山	地方都市型	444,978	421,000	-5%	384,398	-14%	9%	-1%	8%
那賀	地方都市型	118,696	116,859	-2%	110,522	-7%	12%	5%	18%
橋本	地方都市型	98,347	88,719	-10%	78,908	-20%	4%	0%	3%
有田	過疎地域型	83,596	74,102	-11%	65,217	-22%	0%	-4%	-4%
御坊	過疎地域型	70,535	63,780	-10%	56,861	-19%	0%	-4%	-4%
田辺	過疎地域型	140,409	128,730	-8%	115,714	-18%	3%	-2%	0%
新宮	過疎地域型	79,408	68,188	-14%	57,562	-28%	-1%	-7%	-8%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資\_図表 30-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
和歌山県	92	8.9	55	86	8.9	55	-6	-7%	80
和歌山	49	11.0	60	45	10.7	60	-4	-8%	41
那賀	7	5.9	47	8	6.8	50	1	14%	9
橋本	8	8.1	53	6	6.8	50	-2	-25%	4
有田	6	7.2	50	6	8.1	53	0	0%	6
御坊	4	5.7	46	4	6.3	49	0	0%	4
田辺	9	6.4	48	9	7.0	51	0	0%	9
新宮	9	11.3	61	8	11.7	62	-1	-11%	7

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月  
<病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

30. 和歌山県（2016年版）

資\_図表 30-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
和歌山県	1,084	105	64	1,070	111	66	-14	-1%	1,055
和歌山	533	120	72	522	124	73	-11	-2%	510
那賀	112	94	59	107	92	56	-5	-4%	102
橋本	94	96	60	93	105	63	-1	-1%	92
有田	79	95	59	78	105	63	-1	-1%	77
御坊	66	94	59	68	107	64	2	3%	70
田辺	121	86	55	129	100	61	8	7%	138
新宮	79	99	62	73	107	64	-6	-8%	66
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 30-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
和歌山県	2,602	251	55	2,791	290	55	189	7%	2,999
和歌山	1,523	342	66	1,677	398	66	154	10%	1,846
那賀	183	154	43	184	157	41	1	1%	185
橋本	182	185	47	182	205	46	0	0%	182
有田	138	165	44	130	175	43	-8	-6%	121
御坊	148	210	50	156	245	50	8	5%	165
田辺	263	187	47	311	242	50	48	18%	364
新宮	165	208	50	151	221	48	-14	-8%	136
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 30-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
和歌山県	16,846	163	54	15,136	157	54	-1,710	-10%	13,256
和歌山	8,312	187	58	7,244	172	57	-1,068	-13%	6,069
那賀	1,312	111	44	1,391	119	48	79	6%	1,478
橋本	1,104	112	45	990	112	46	-114	-10%	865
有田	1,137	136	49	1,012	137	51	-125	-11%	875
御坊	1,272	180	57	1,105	173	57	-167	-13%	921
田辺	2,074	148	51	1,922	149	53	-152	-7%	1,755
新宮	1,635	206	61	1,472	216	65	-163	-10%	1,293
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 30-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
和歌山県	10,837	105	57	9,967	104	59	-870	-8%	9,010	104
和歌山	5,563	125	65	5,173	123	66	-390	-7%	4,744	123
那賀	767	65	43	807	69	47	40	5%	851	77
橋本	823	84	50	772	87	53	-51	-6%	716	91
有田	614	73	46	447	60	43	-167	-27%	263	40
御坊	987	140	70	914	143	74	-73	-7%	834	147
田辺	1,185	84	50	1,114	87	53	-71	-6%	1,036	90
新宮	898	113	60	740	109	61	-158	-18%	566	98
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 30-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
和歌山県	3,108	26	46	2,965	19	49	-143	-5%	2,808	15
和歌山	1,378	29	48	1,185	19	48	-193	-14%	973	12
那賀	256	24	45	359	25	54	103	40%	472	24
橋本	157	14	40	94	7	38	-63	-40%	25	1
有田	219	20	43	261	20	50	42	19%	307	21
御坊	123	13	39	67	6	37	-56	-46%	5	0
田辺	577	32	50	606	27	56	29	5%	638	25
新宮	398	31	50	393	27	55	-5	-1%	388	24
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

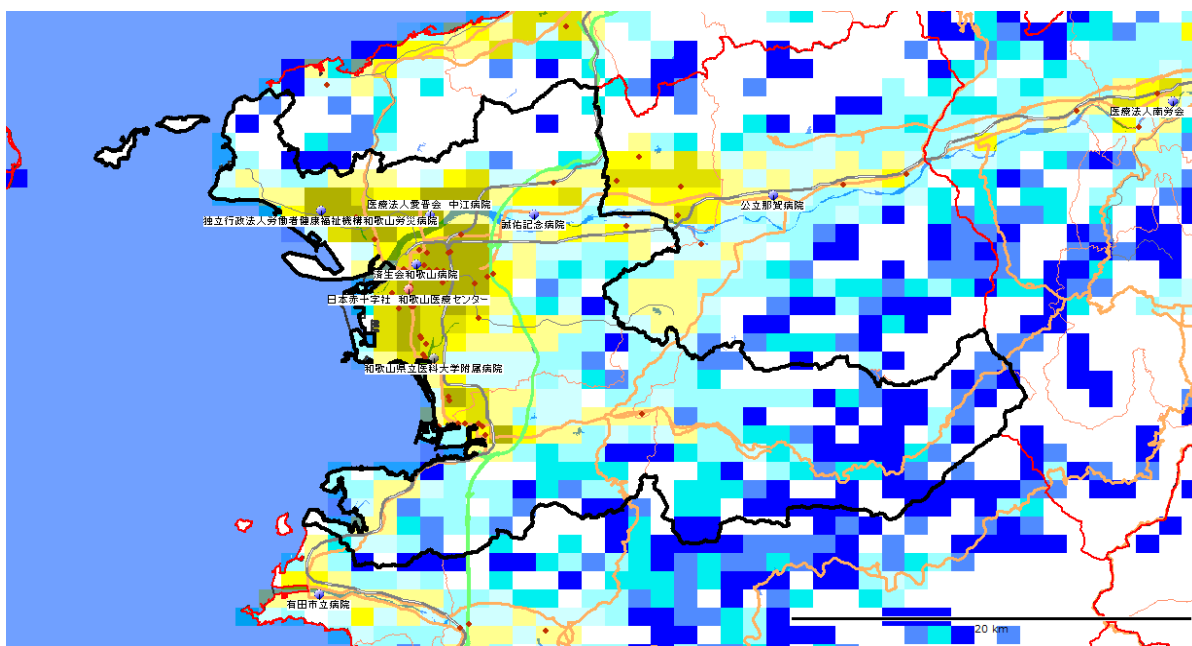
資\_図表 30-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
和歌山県	328	50	0.994	125	50	0.984	179	51	1.005
和歌山	347	55	1.028	129	51	0.989	194	60	1.060
那賀	316	47	0.977	115	46	0.929	176	50	1.010
橋本	350	55	1.018	132	52	0.994	193	59	1.041
有田	311	46	0.989	124	49	1.024	165	43	0.973
御坊	320	48	1.001	124	49	1.007	172	47	0.998
田辺	286	40	0.909	112	45	0.926	152	35	0.895
新宮	333	51	0.972	139	54	1.048	174	48	0.937
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

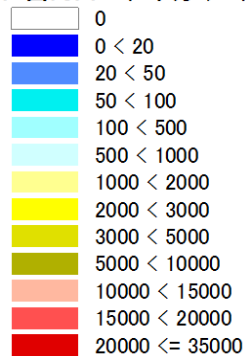
# 30-1. わかやま 和歌山医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [和歌山市](#) [海南市](#) [紀美野町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (和歌山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 和歌山(和歌山市)は、総人口約421千人(2015年推計)、面積439km<sup>2</sup>、人口密度は960人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 和歌山の総人口は2025年に384千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に321千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の64千人が、2025年にかけて79千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には72千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 和歌山の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値55)、介護給付費は306千円(偏差値64)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 和歌山の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.44、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.79で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が67(病院医師数66、診療所医師数66)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は60と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は67で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。和歌山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の和歌山県立医科大学附属病院(I群・救命)、日本赤十字社和歌山医療センター(II群・救命)、1000例以上の和歌山労災病院(III群)、500例以上の済生会和歌山病院(III群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値59と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は73で診療所数は非常に多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 和歌山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6464人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3458床(偏差値46)、高齢者住宅等が3006床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5208人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。  
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム43、軽費ホーム47、グループホーム56、サ高住68である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2133人(75歳以上1000人当たりの偏差値86)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

和歌山医療圏の総人口は、2005年444978人が、2015年に421000人と5%減少し、2025年の人口が384398人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

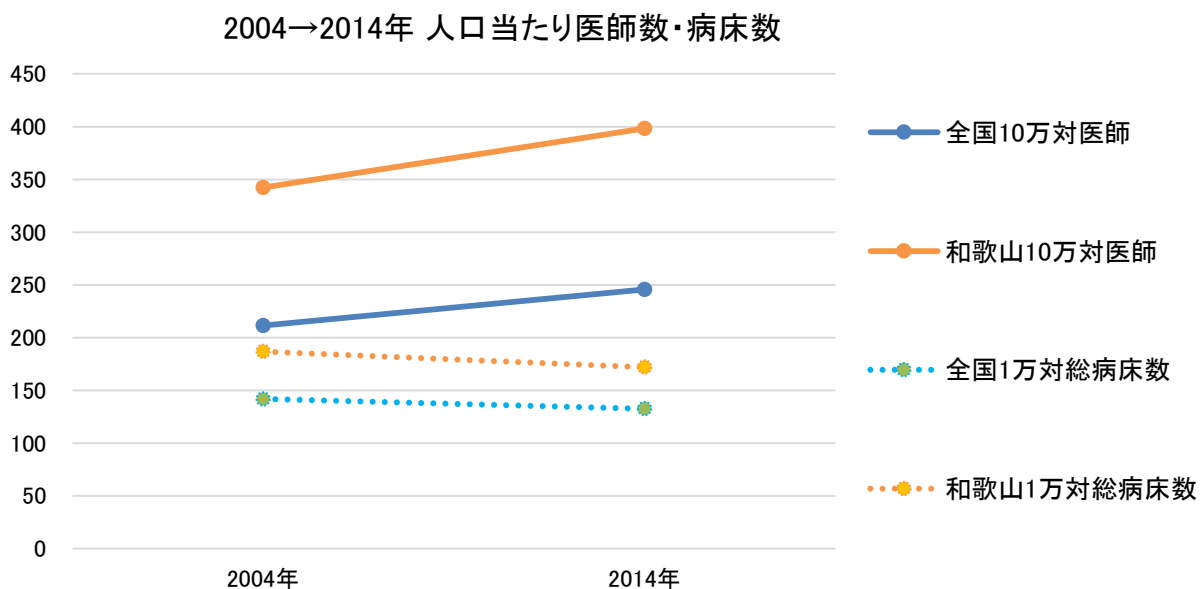
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が49(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に45(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が533(人口10万人当たり120診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2014年に522(人口10万人当たり124診療所(全国平均79)偏差値73)と、11診療所が減少した。

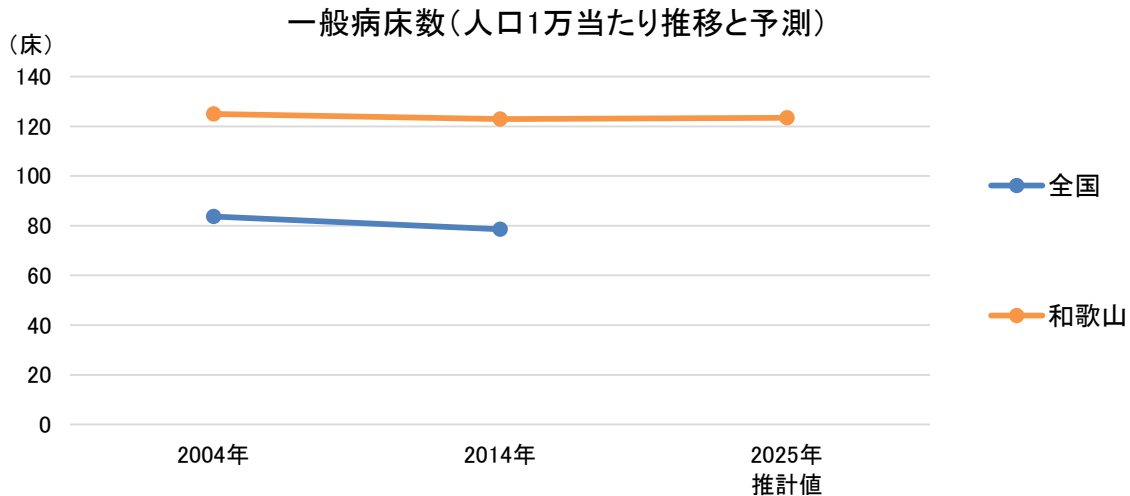
2004年の総病床数が8312床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に7244床(人口1万人当たり172(全国平均133)偏差値57)と、1068床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1523人(人口10万人当たり342人(全国平均212人)偏差値66)であったが、2014年に1677人(人口10万人当たり398人(全国平均246人)偏差値66)と、154人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



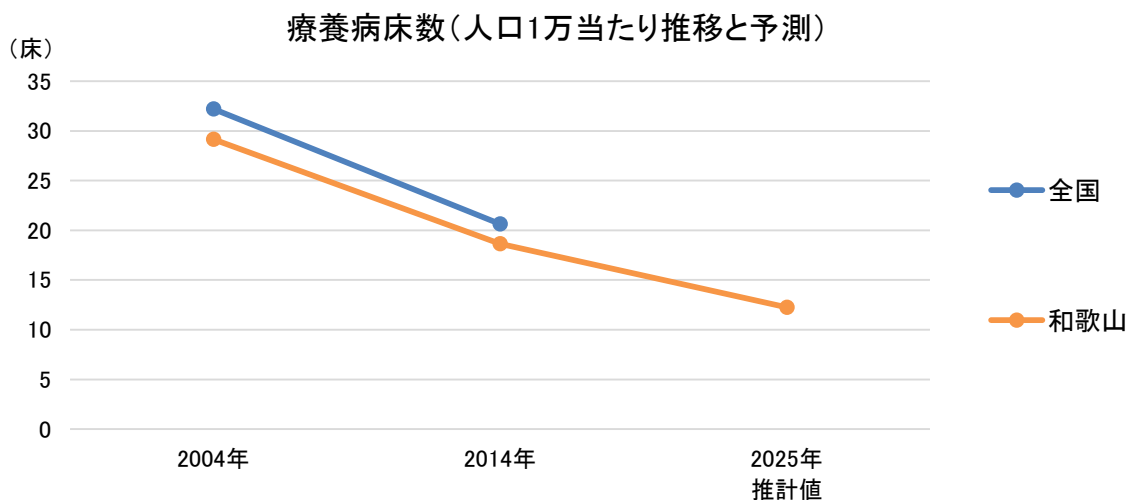
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5563床(人口1万人当たり125(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に5173床(人口1万人当たり123(全国平均79)偏差値66)と、390床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4744床(2025年の推計人口1万人当たり123)になることが予想される。



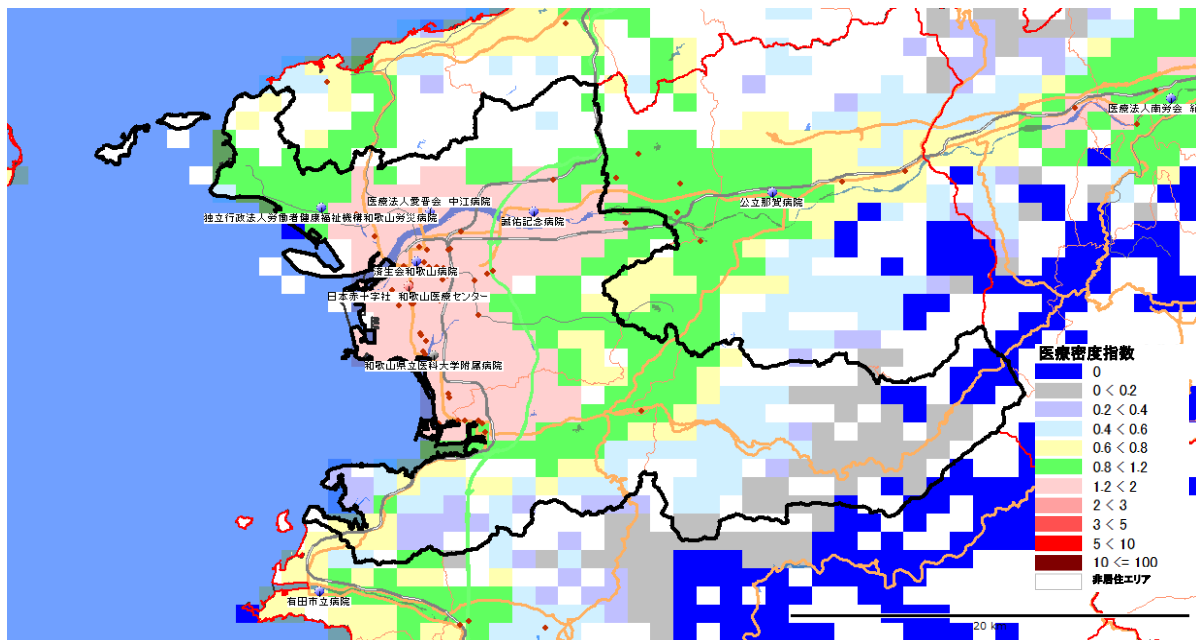
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1378床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1185床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、193床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には973床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

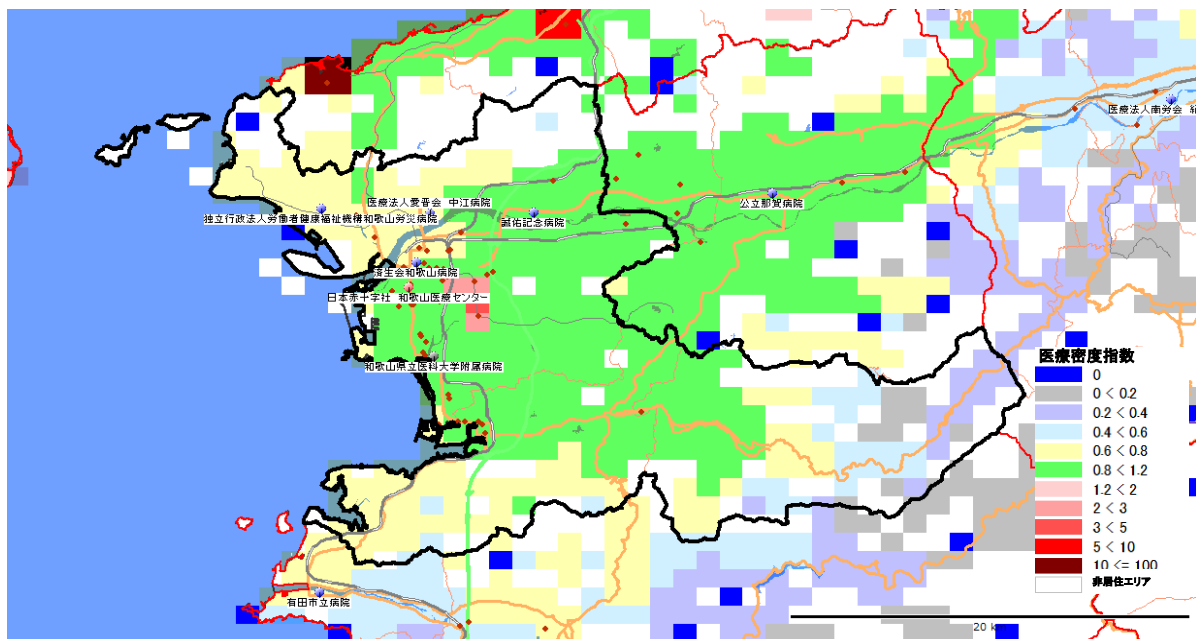


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-1-2 慢性期医療密度指数マップ

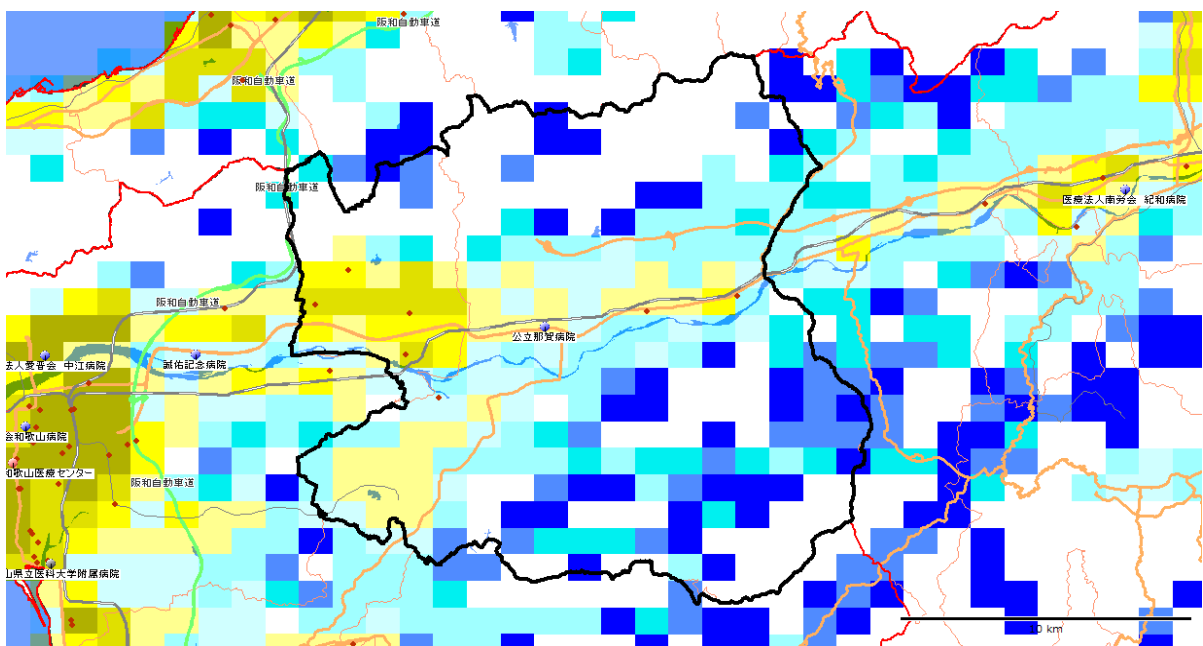




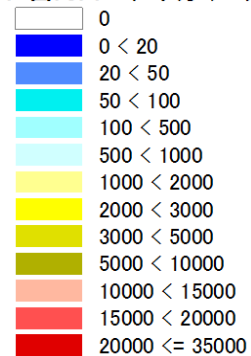
# 30-2. な が 那賀医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [紀の川市](#) [岩出市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （那賀医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 那賀（紀の川市）は、総人口約117千人（2015年推計）、面積267km<sup>2</sup>、人口密度は438人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 那賀の総人口は2025年に111千人へと減少し（2015年比－5%）、2040年に97千人へと減少する（2025年比－13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて19千人へと増加し（2015年比＋27%）、2040年には21千人へと増加する（2025年比＋11%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 那賀の一人当たり医療費（国保）は307千円（偏差値47）、介護給付費は272千円（偏差値55）であり、医療費はやや低い、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 那賀の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42（病院医師数39、診療所医師数51）と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。那賀には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立那賀病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 那賀の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1258人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が951床（偏差値55）、高齢者住宅等が307床（偏差値38）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1168人（75歳以上1000人当たりの偏差値53）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設56、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム48、サ高住47である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値82と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値71と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、377人（75歳以上1000人当たりの偏差値73）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－55%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

那賀医療圏の総人口は、2005年118696人が、2015年に116859人と2%減少し、2025年の人口が110522人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

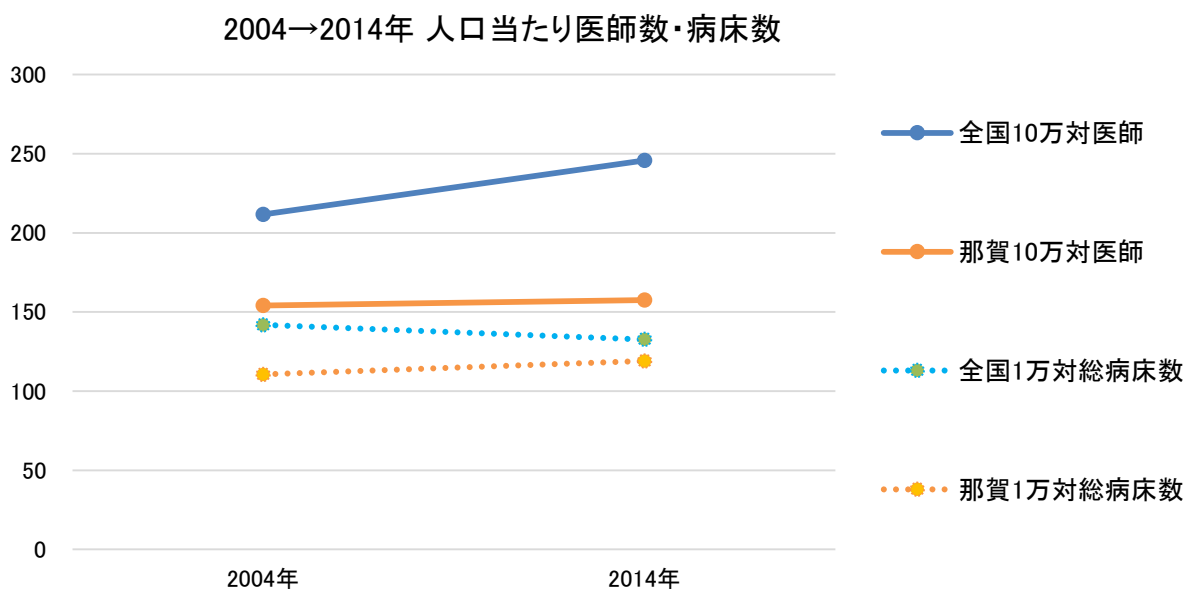
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6.8病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に107(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値56)と、5診療所が減少した。

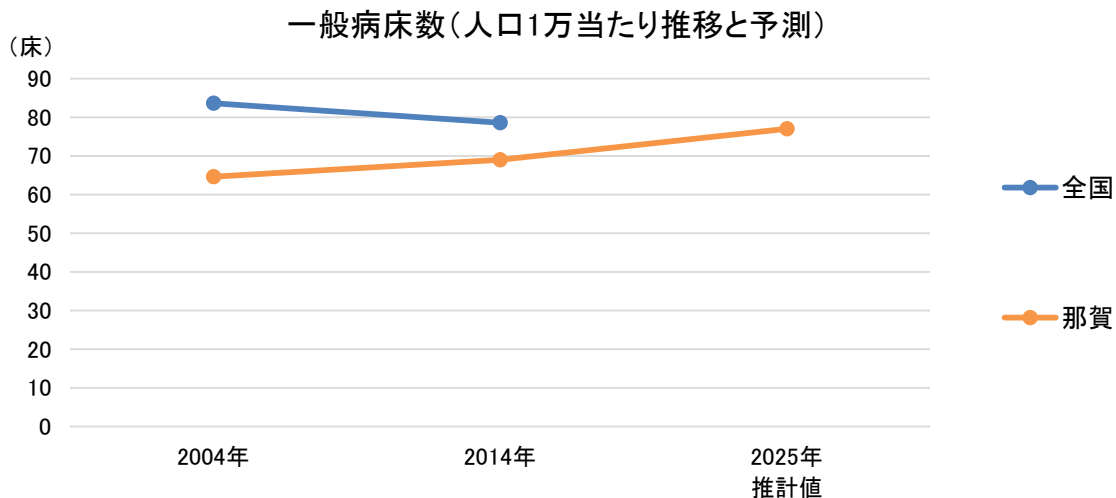
2004年の総病床数が1312床(人口1万人当たり111(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に1391床(人口1万人当たり119(全国平均133)偏差値48)と、79床の増加、率にして6%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が183人(人口10万人当たり154人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に184人(人口10万人当たり157人(全国平均246人)偏差値41)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



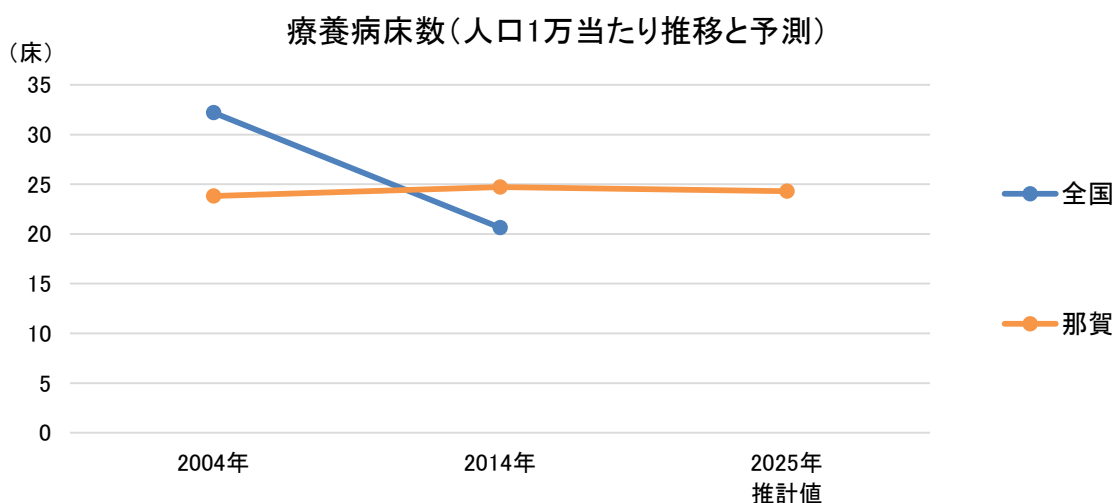
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が767床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に807床(人口1万人当たり69(全国平均79)偏差値47)と、40床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には851床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



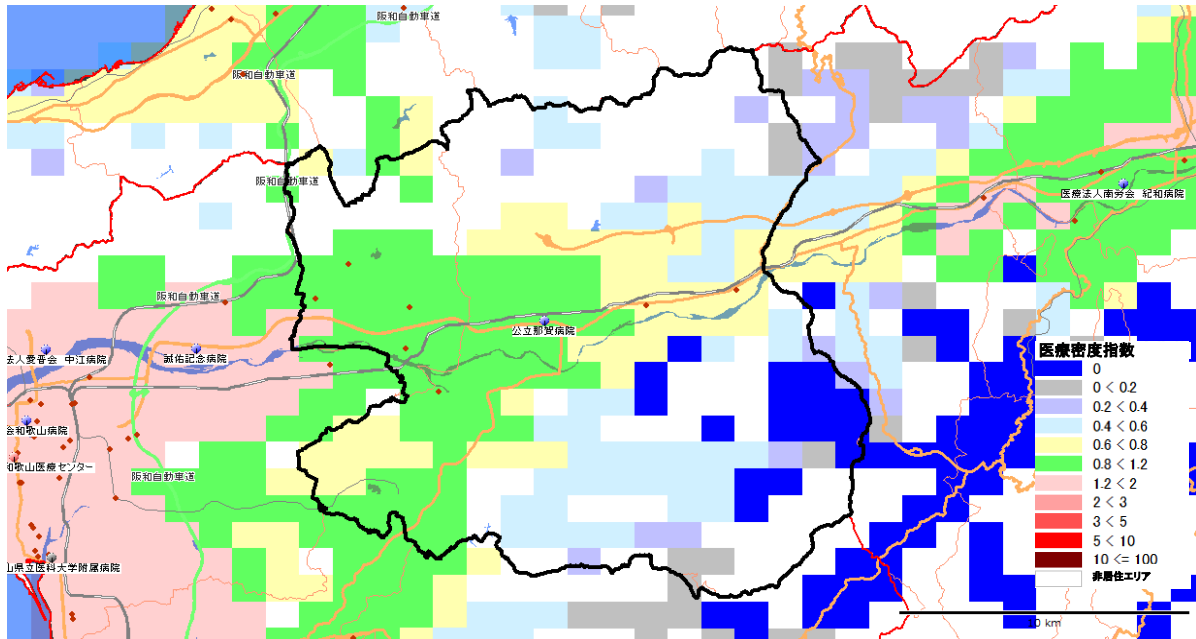
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が256床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に359床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、103床の増加、率にして40%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には472床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

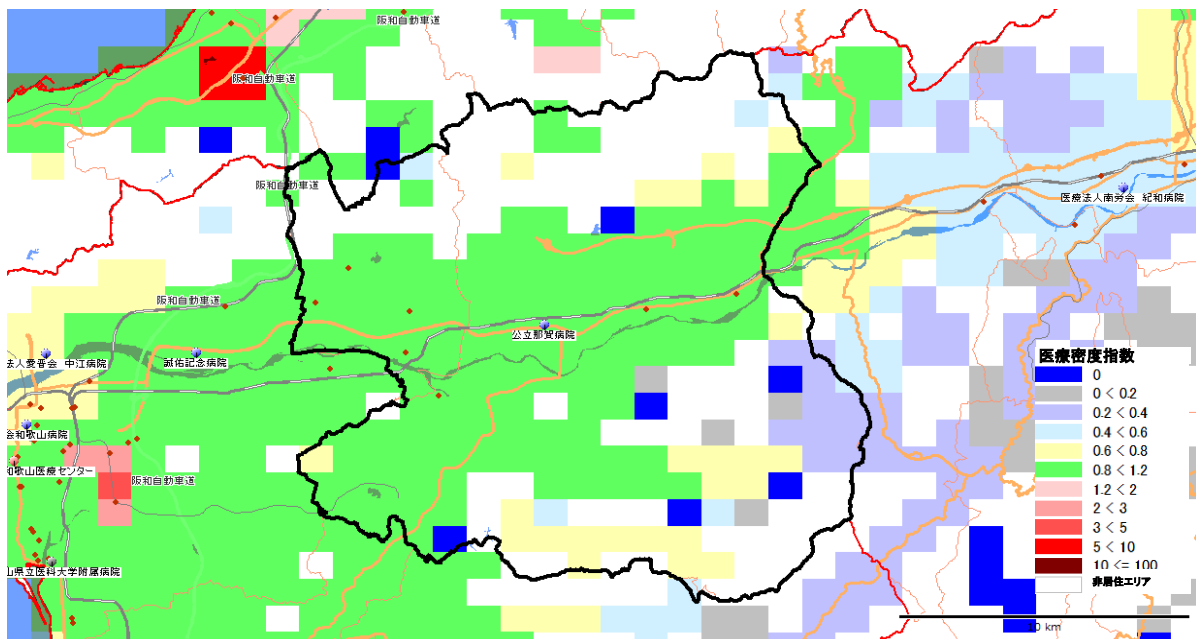


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-2-1 急性期医療密度指数マップ



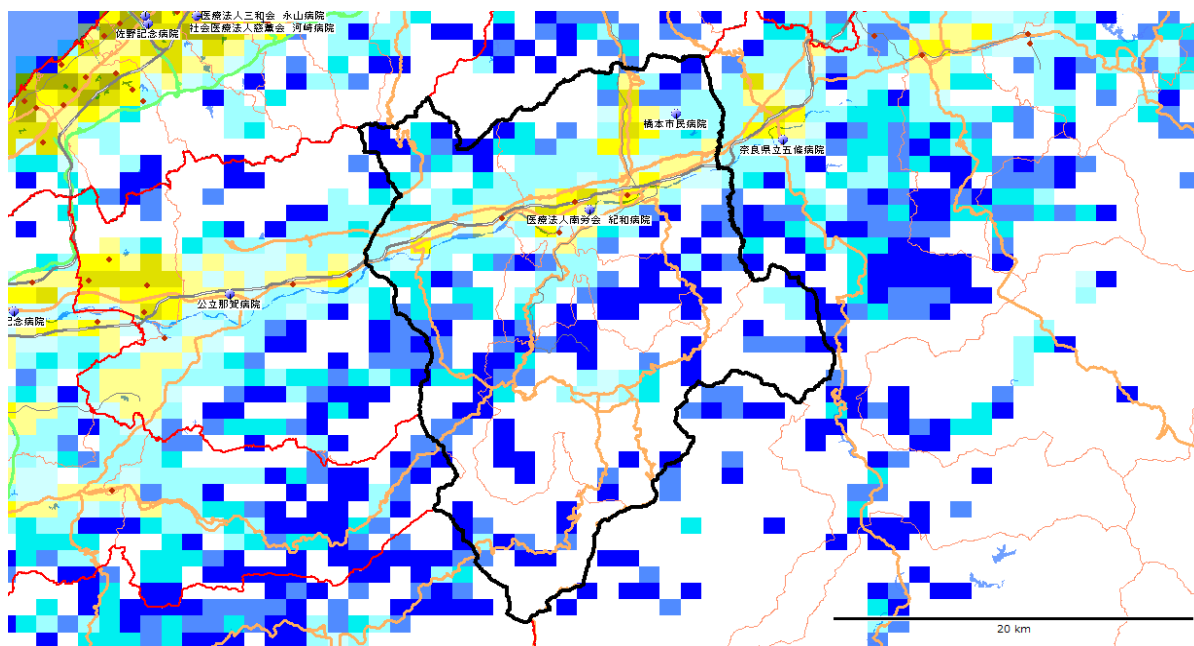
図表30-2-2 慢性期医療密度指数マップ



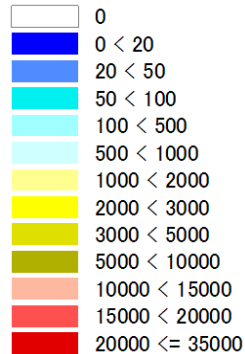
# 30-3. はしもと 橋本医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [橋本市](#)      [かつらぎ町](#)      [九度山町](#)      [高野町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (橋本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 橋本(橋本市)は、総人口約89千人(2015年推計)、面積463km<sup>2</sup>、人口密度は192人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 橋本の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に63千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 橋本の一人当たり医療費(国保)は335千円(偏差値54)、介護給付費は306千円(偏差値64)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 橋本の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.89で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数43、診療所医師数60)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。橋本には、年間全身麻酔件数が500例以上の橋本市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 橋本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1243人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が957床(偏差値57)、高齢者住宅等が286床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1187人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム54、グループホーム43、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、296人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

橋本医療圏の総人口は、2005年98347人が、2015年に88719人と10%減少し、2025年の人口が78908人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてはほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

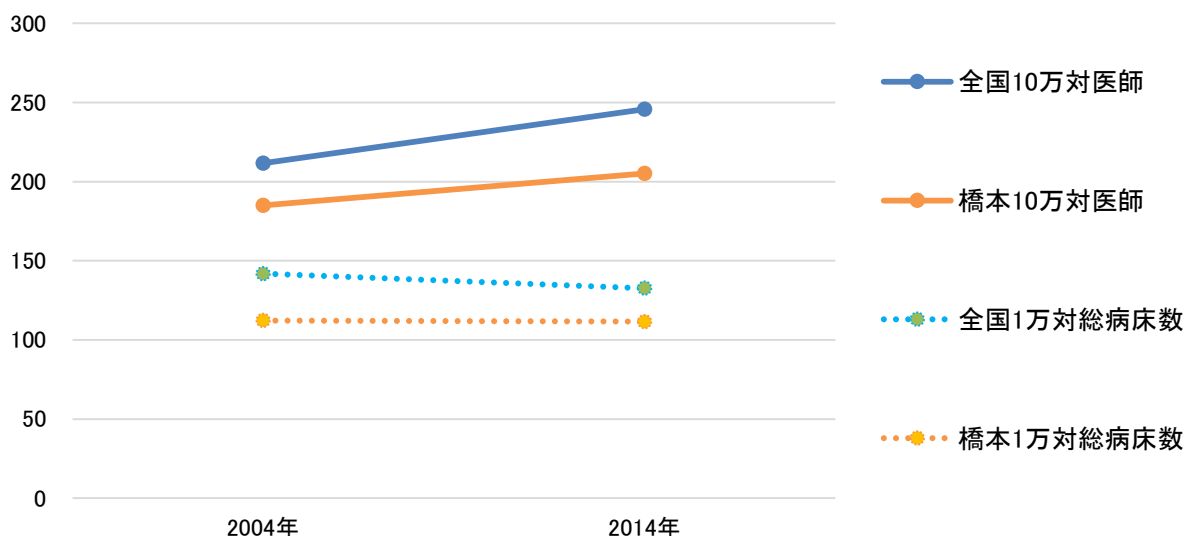
2004年の病院数が8(人口10万人当たり8.1病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に6(人口10万人当たり6.8病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に93(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が1104床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に990床(人口1万人当たり112(全国平均133)偏差値46)と、114床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が182人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に182人(人口10万人当たり205人(全国平均246人)偏差値46)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。

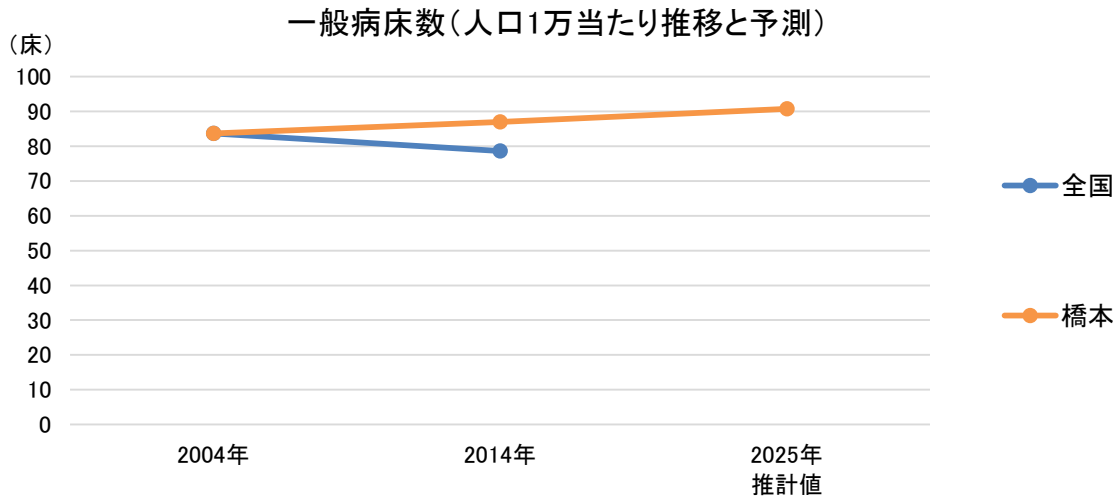
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数





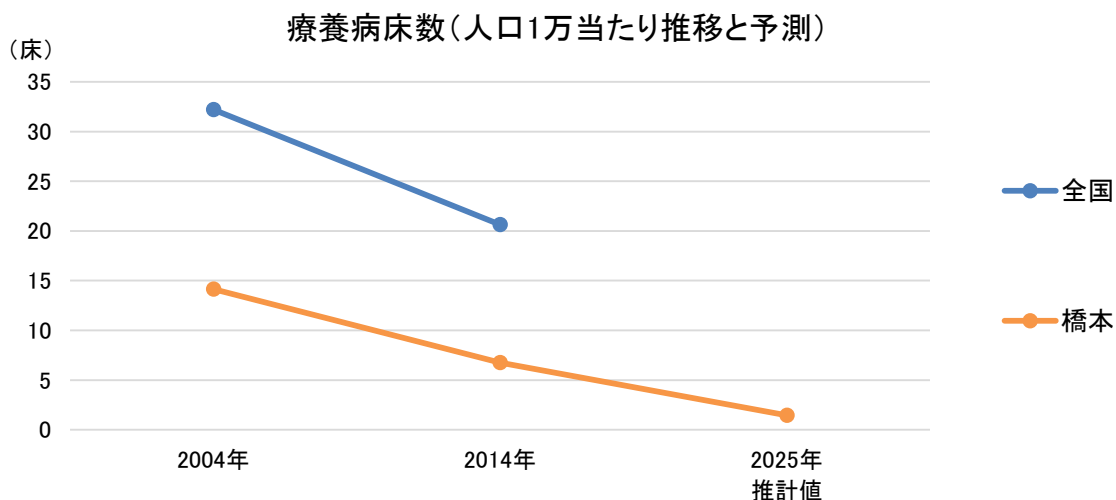
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が823床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に772床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、51床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には716床(2025年の推計人口1万人当たり91)になることが予想される。



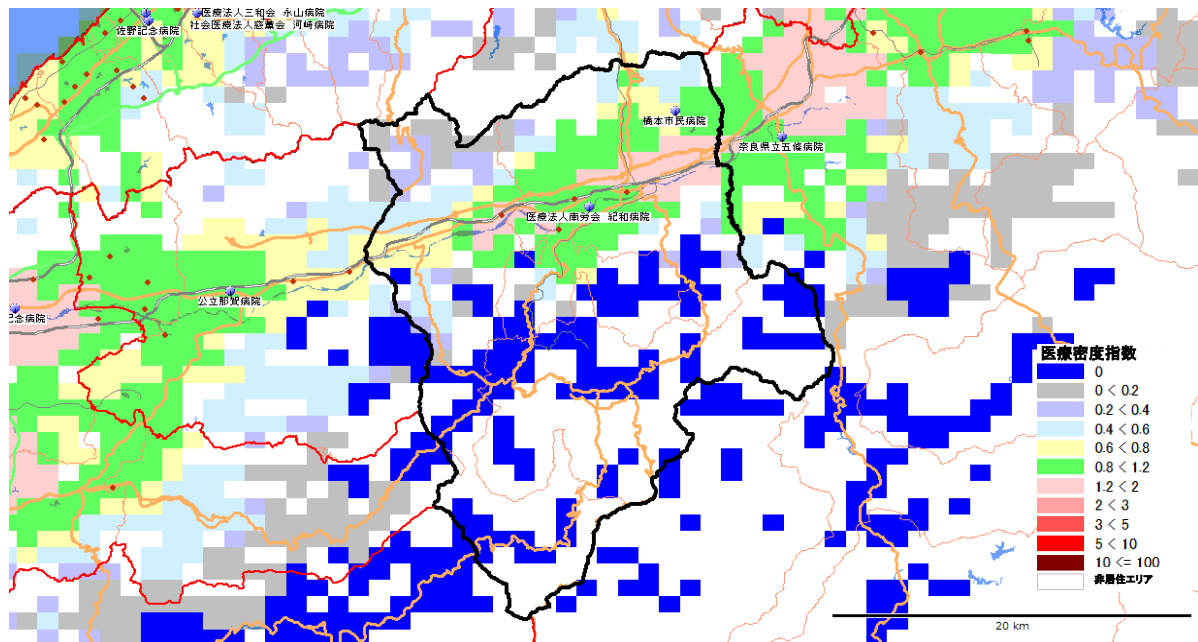
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が157床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に94床(75歳以上1000人当たり7(全国平均21)偏差値38)と、63床の減少、率にして40%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には25床(2025年の推計75歳以上1000人当たり1)になることが予想される。

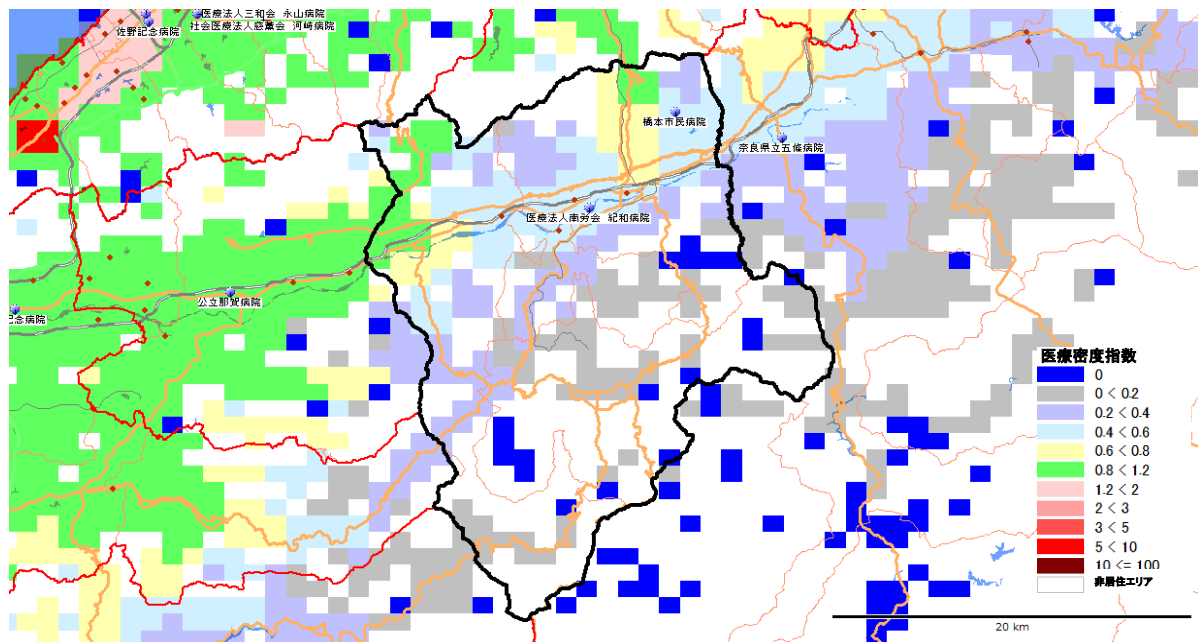


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-3-1 急性期医療密度指数マップ



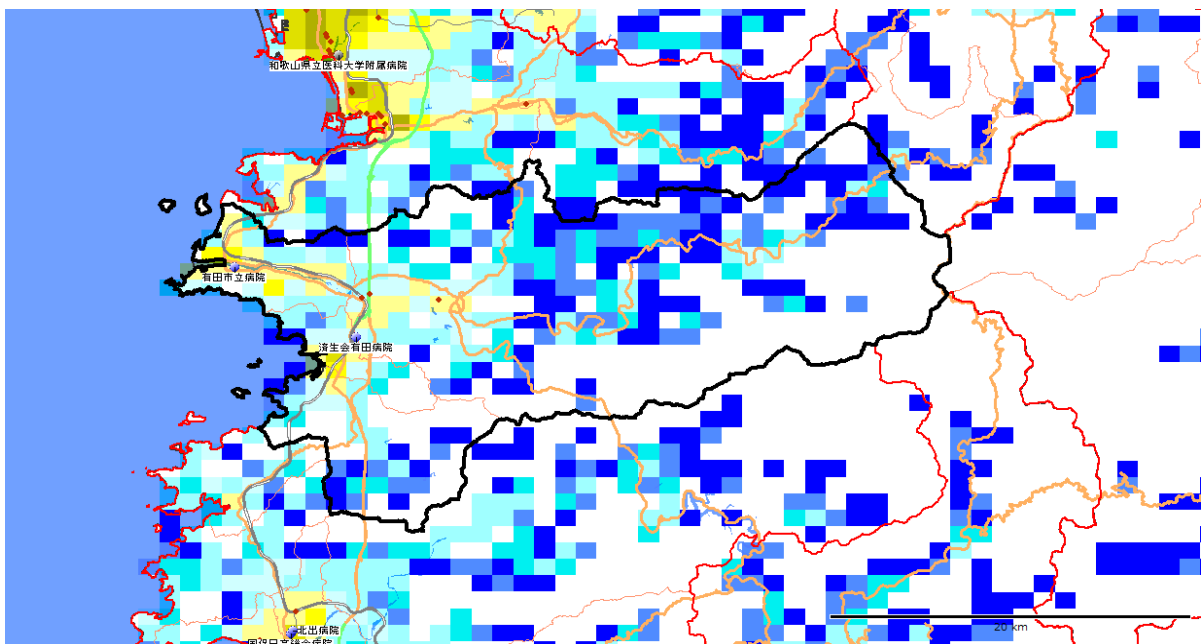
図表30-3-2 慢性期医療密度指数マップ



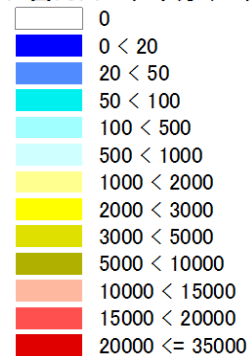
# 30-4. あ り た 有田医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [有田市](#) [湯浅町](#) [広川町](#) [有田川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （有田医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 有田(有田市)は、総人口約74千人(2015年推計)、面積475km<sup>2</sup>、人口密度は156人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 有田の総人口は2025年に65千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に52千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 有田の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値46)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 有田の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.34で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数38、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。有田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 有田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1334人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が892床(偏差値58)、高齢者住宅等が442床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1165人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム74、グループホーム52、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、182人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

有田医療圏の総人口は、2005年83596人が、2015年に74102人と11%減少し、2025年の人口が65217人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

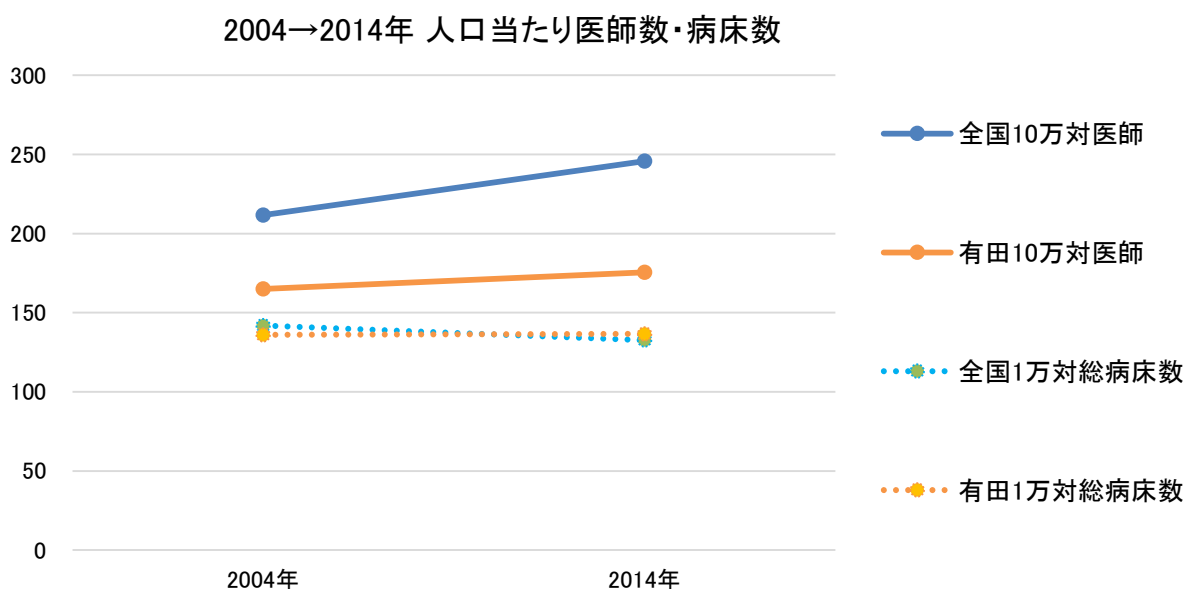
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり7.2病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に6(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に78(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、1診療所が減少した。

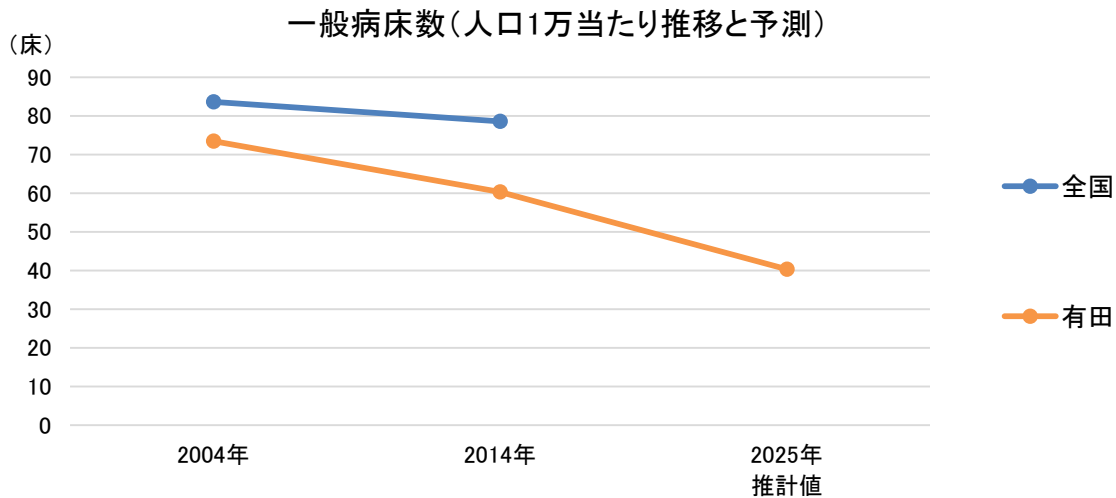
2004年の総病床数が1137床(人口1万人当たり136(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に1012床(人口1万人当たり137(全国平均133)偏差値51)と、125床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が138人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に130人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、8人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



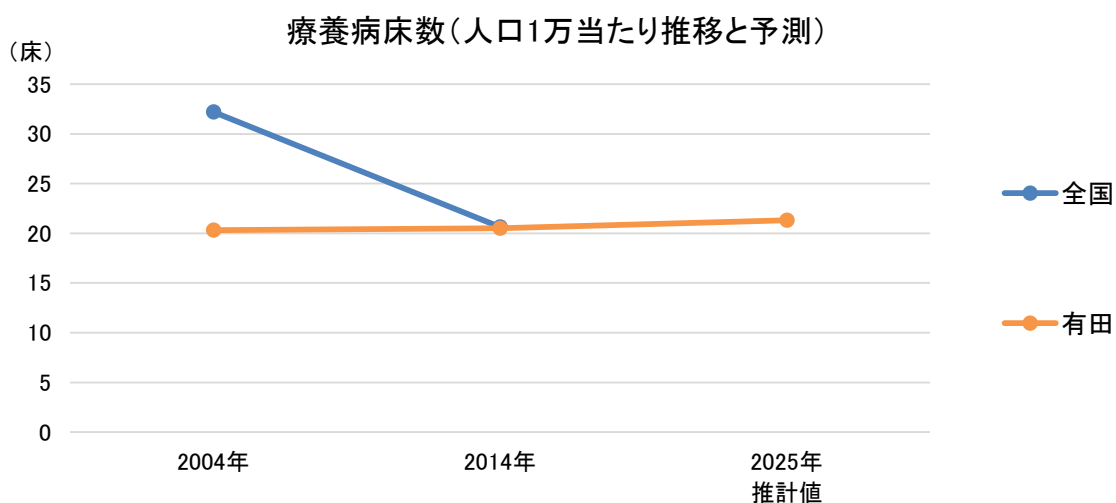
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が614床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に447床(人口1万人当たり60(全国平均79)偏差値43)と、167床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には263床(2025年の推計人口1万人当たり40)になることが予想される。



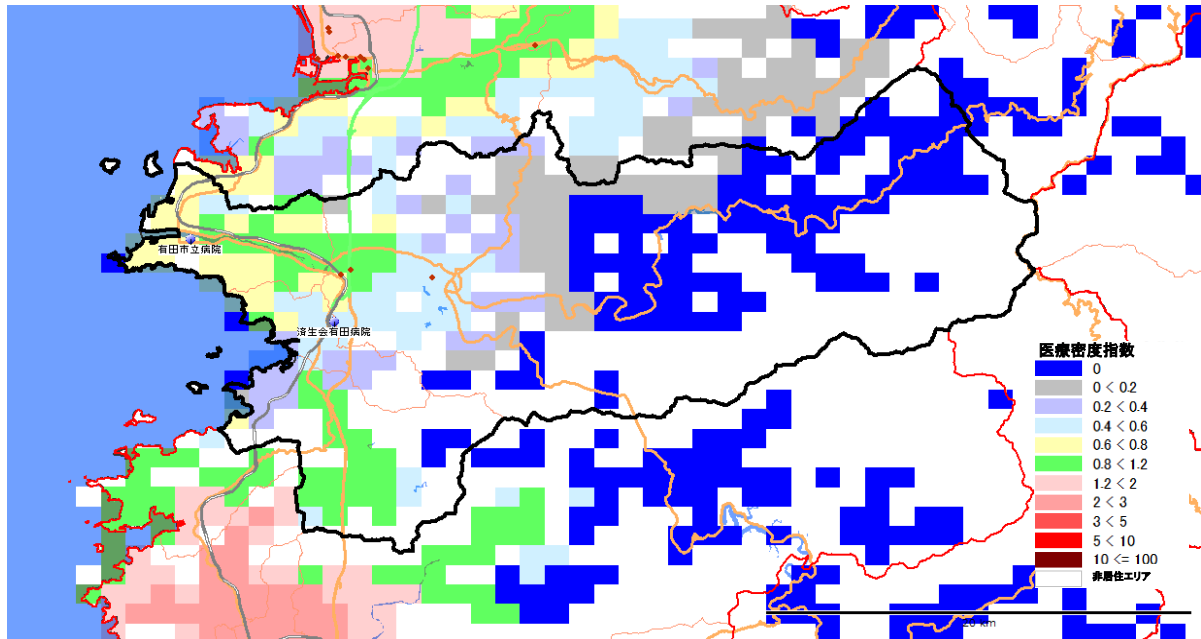
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が219床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に261床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値50)と、42床の増加、率にして19%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には307床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。

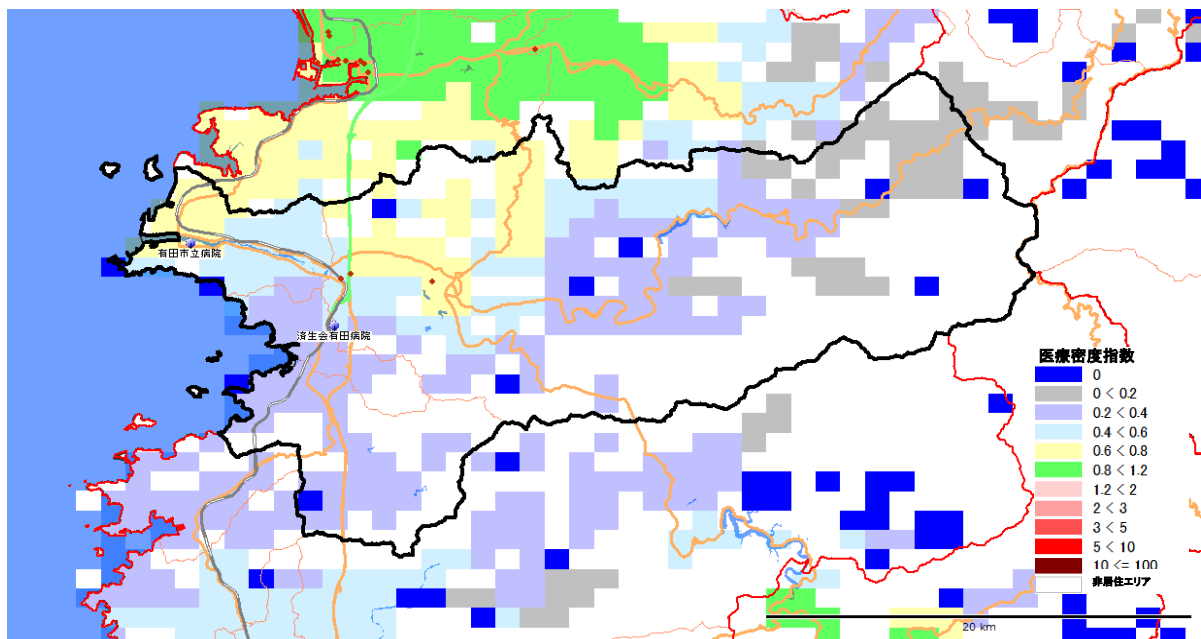


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-4-1 急性期医療密度指数マップ



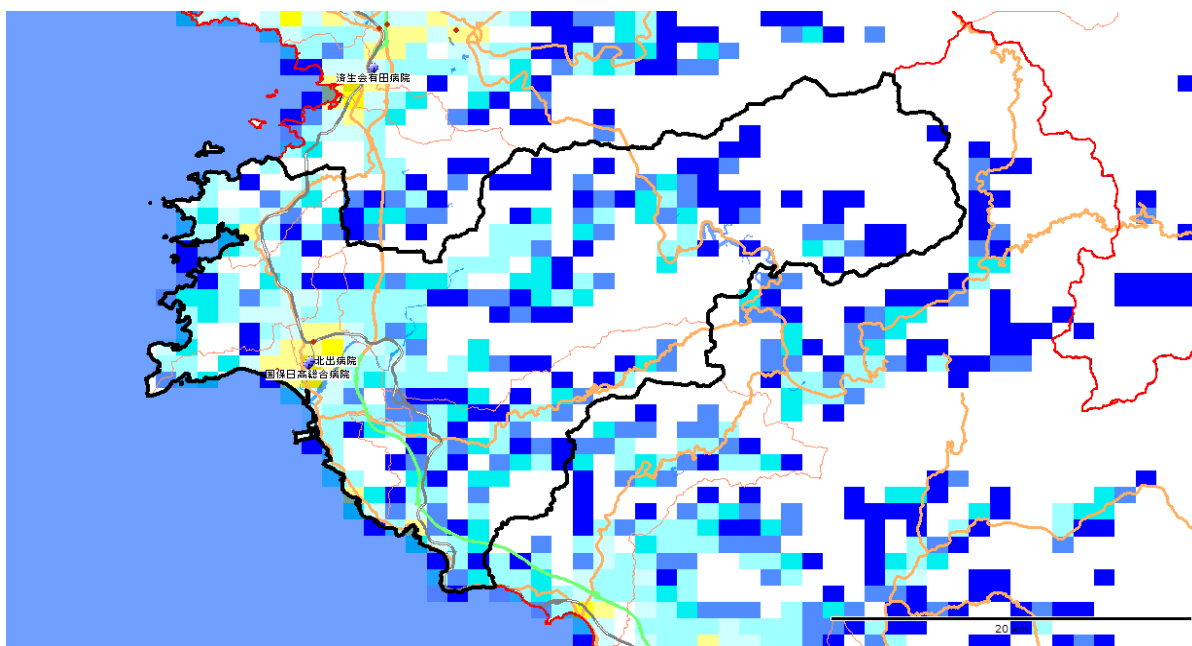
図表30-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 30-5. ご ぼ う 御坊医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [御坊市](#) [美浜町](#) [且高町](#) [由良町](#)  
[印南町](#) [日高川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院



## (御坊医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 御坊(御坊市)は、総人口約64千人(2015年推計)、面積579km<sup>2</sup>、人口密度は110人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 御坊の総人口は2025年に57千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には12千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 御坊の一人当たり医療費(国保)は309千円(偏差値48)、介護給付費は298千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 御坊の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.77で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は76で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。御坊には、年間全身麻酔件数が500例以上の国保日高総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 御坊の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1166人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が954床(偏差値71)、高齢者住宅等が212床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1104人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム76、介護療養型医療施設42、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム65、グループホーム46、サ高住38である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、161人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

御坊医療圏の総人口は、2005年70535人が、2015年に63780人と10%減少し、2025年の人口が56861人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

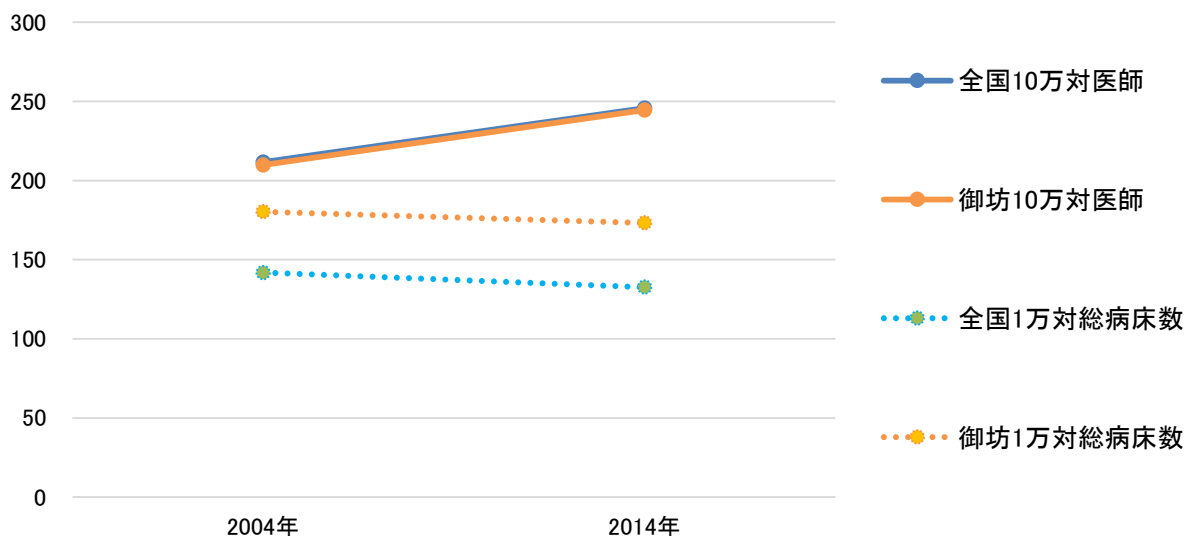
2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に4(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に68(人口10万人当たり107診療所(全国平均79)偏差値64)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1272床(人口1万人当たり180(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1105床(人口1万人当たり173(全国平均133)偏差値57)と、167床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

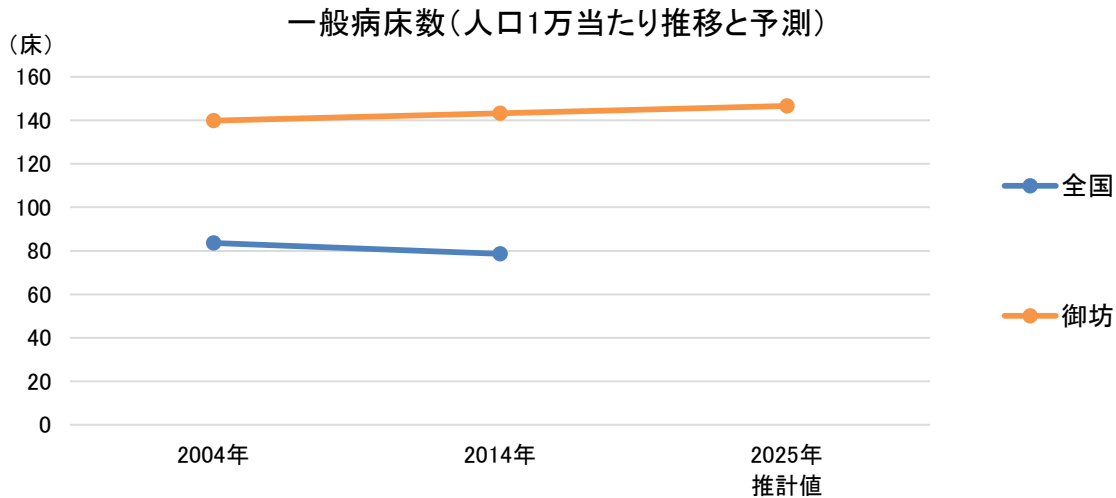
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が148人(人口10万人当たり210人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に156人(人口10万人当たり245人(全国平均246人)偏差値50)と、8人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



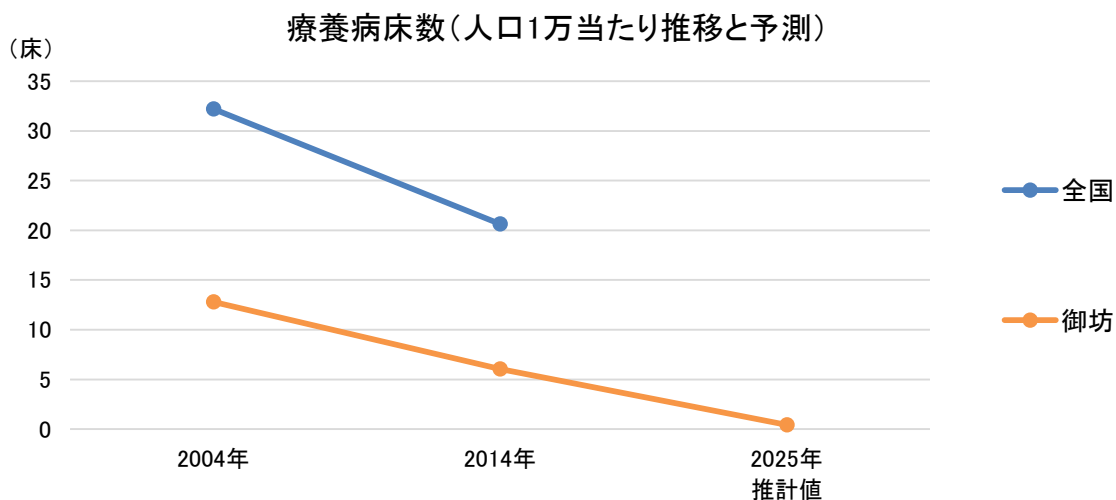
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が987床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に914床(人口1万人当たり143(全国平均79)偏差値74)と、73床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には834床(2025年の推計人口1万人当たり147)になることが予想される。



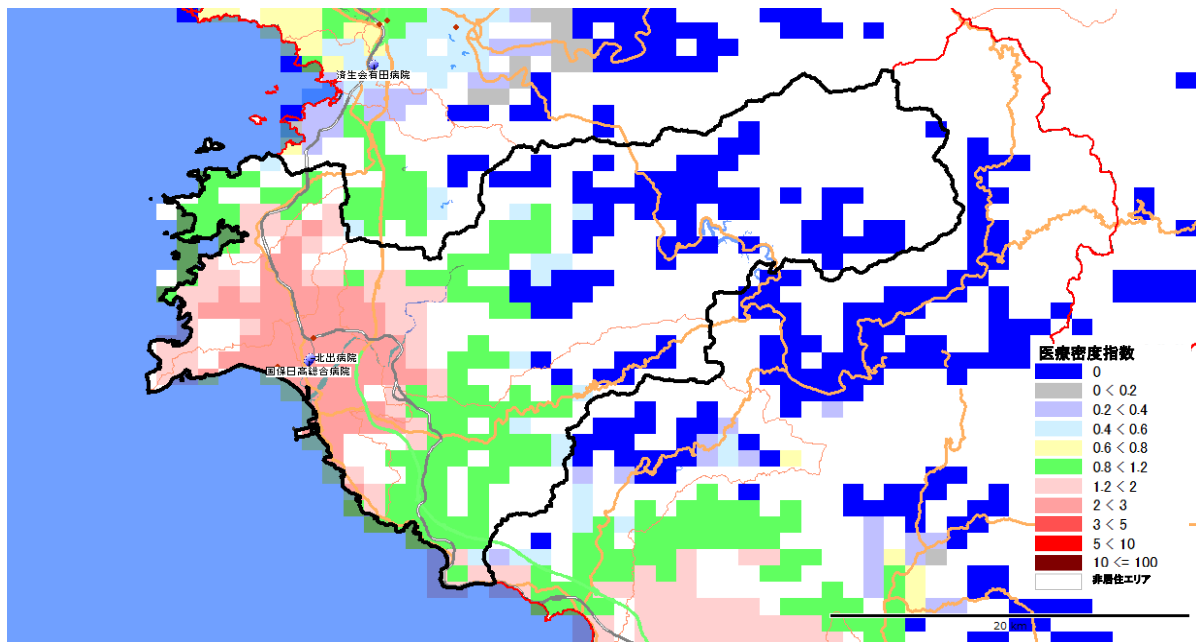
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が123床(75歳以上1000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に67床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、56床の減少、率にして46%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。

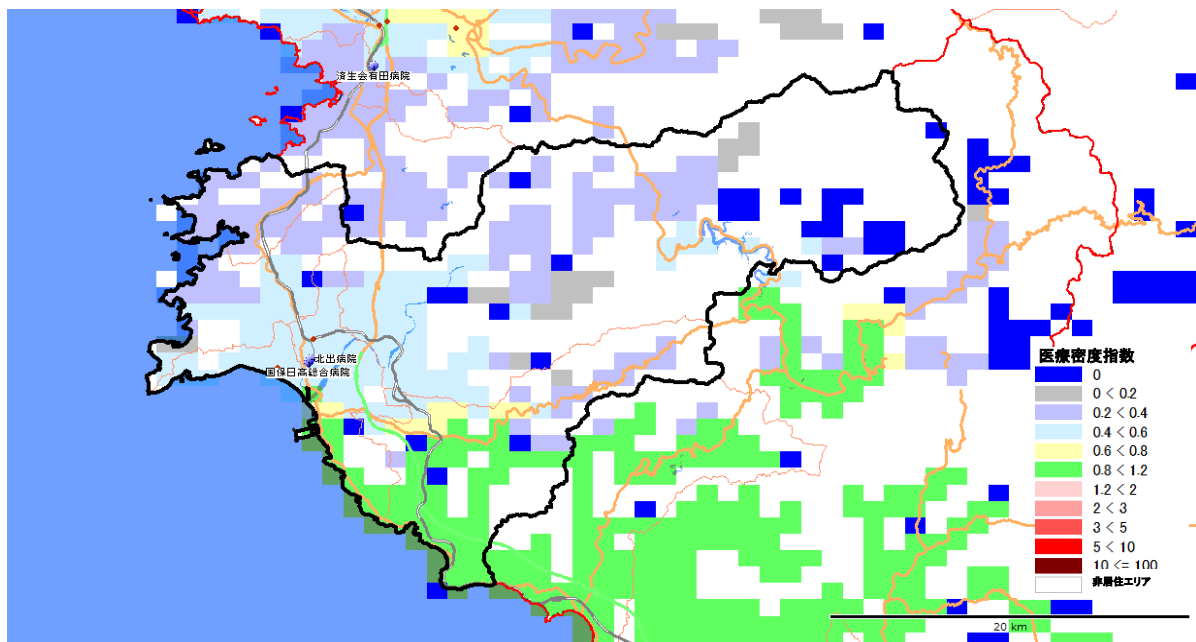


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-5-1 急性期医療密度指数マップ



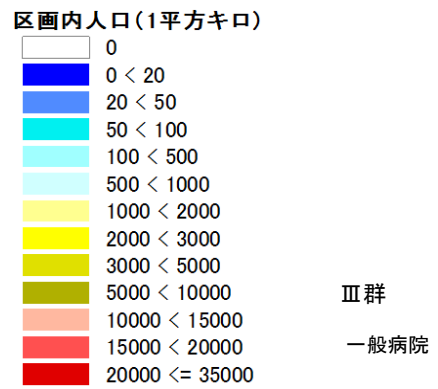
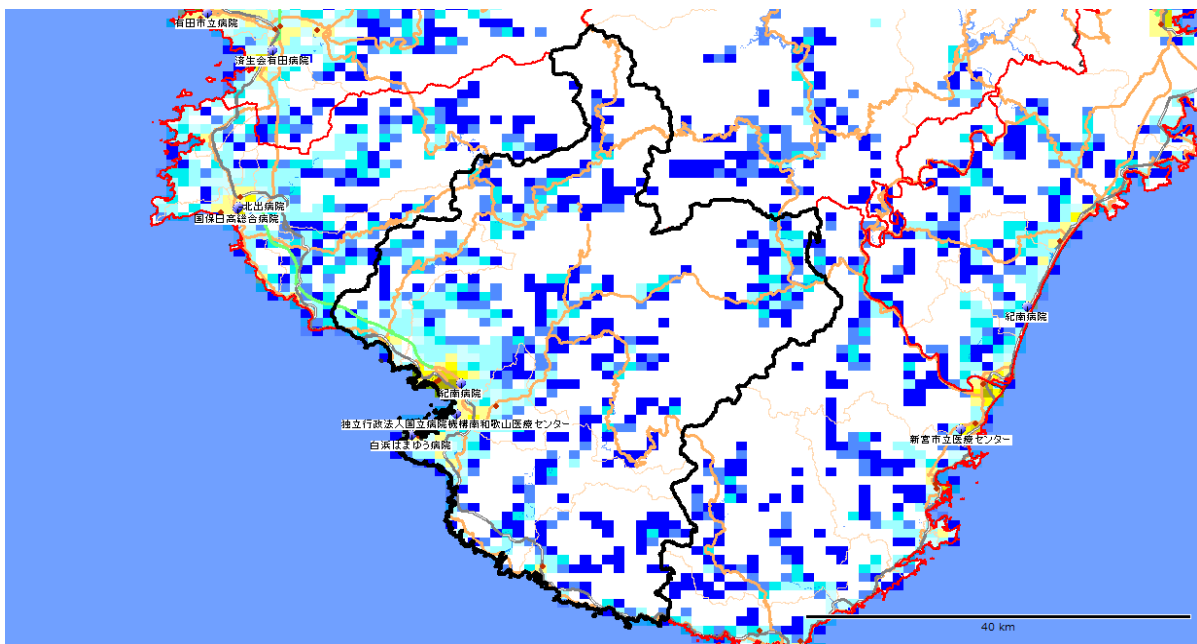
図表30-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 30-6. たなべ 田辺医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [田辺市](#)      [みなべ町](#)      [白浜町](#)      [上富田町](#)  
[すさみ町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （田辺医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 田辺(田辺市)は、総人口約129千人(2015年推計)、面積1580km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 田辺の総人口は2025年に116千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に96千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には24千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 田辺の一人当たり医療費(国保)は280千円(偏差値41)、介護給付費は311千円(偏差値66)であり、医療費は低い、介護給付費は非常に高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 田辺の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.91で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。田辺には、年間全身麻酔件数が1000例以上の紀南病院(Ⅲ群)、500例以上の国立病院機構南和歌山医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 田辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2228人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1621床(偏差値61)、高齢者住宅等が607床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1962人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、656人(75歳以上1000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

田辺医療圏の総人口は、2005年140409人が、2015年に128730人と8%減少し、2025年の人口が115714人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

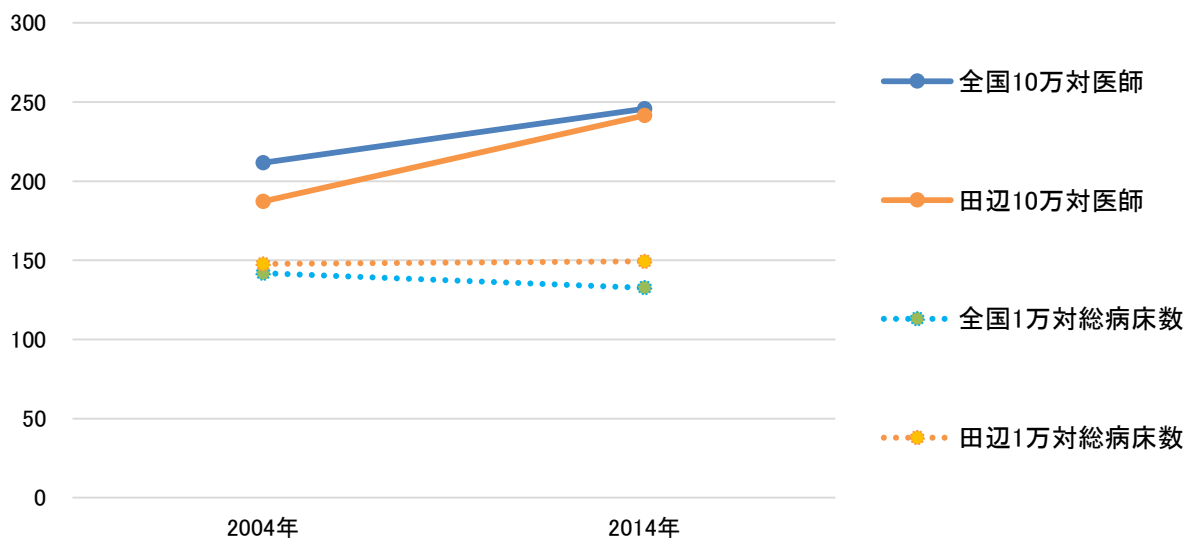
2004年の病院数が9(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に9(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が121(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に129(人口10万人当たり100診療所(全国平均79)偏差値61)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が2074床(人口1万人当たり148(全国平均142)偏差値51)であったが、2014年に1922床(人口1万人当たり149(全国平均133)偏差値53)と、152床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

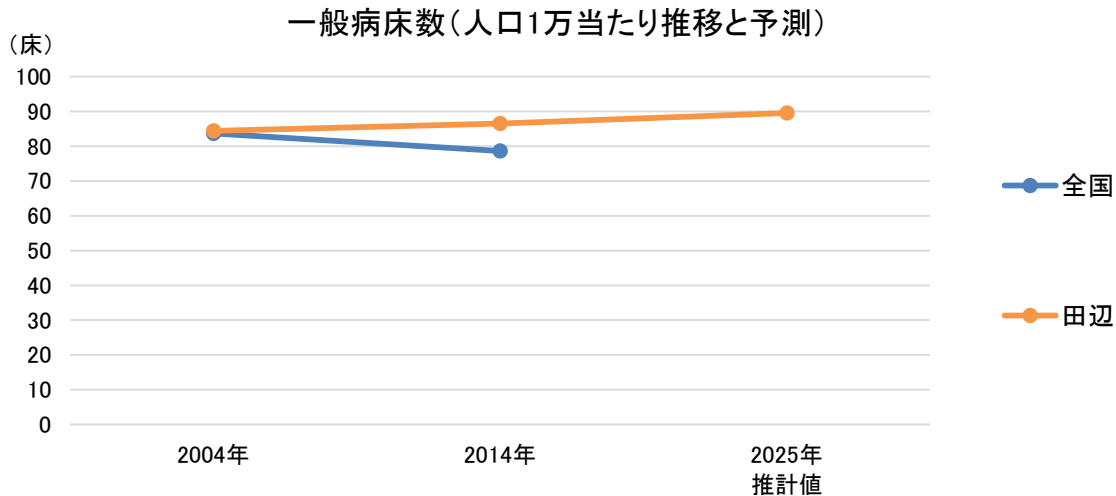
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が263人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に311人(人口10万人当たり242人(全国平均246人)偏差値50)と、48人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



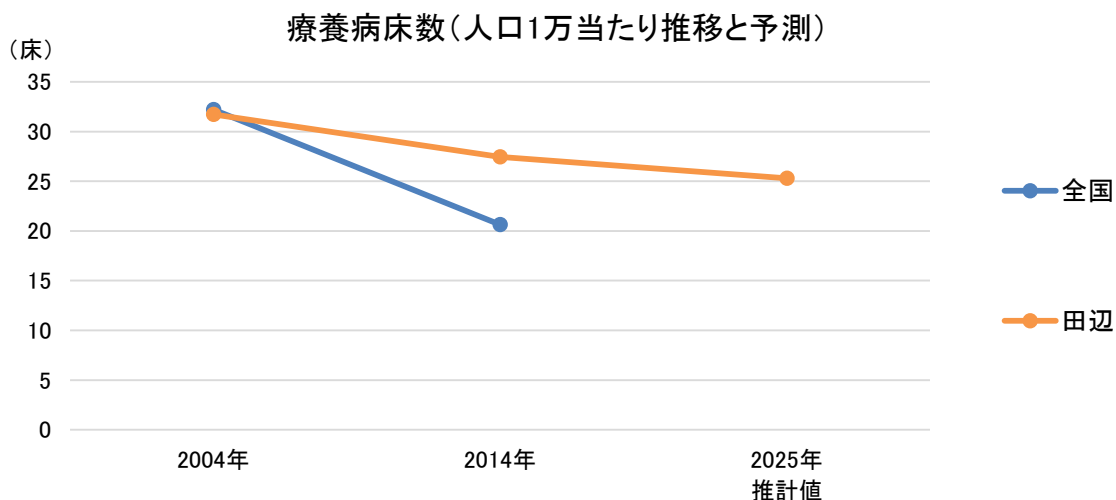
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1185床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に1114床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、71床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1036床(2025年の推計人口1万人当たり90)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

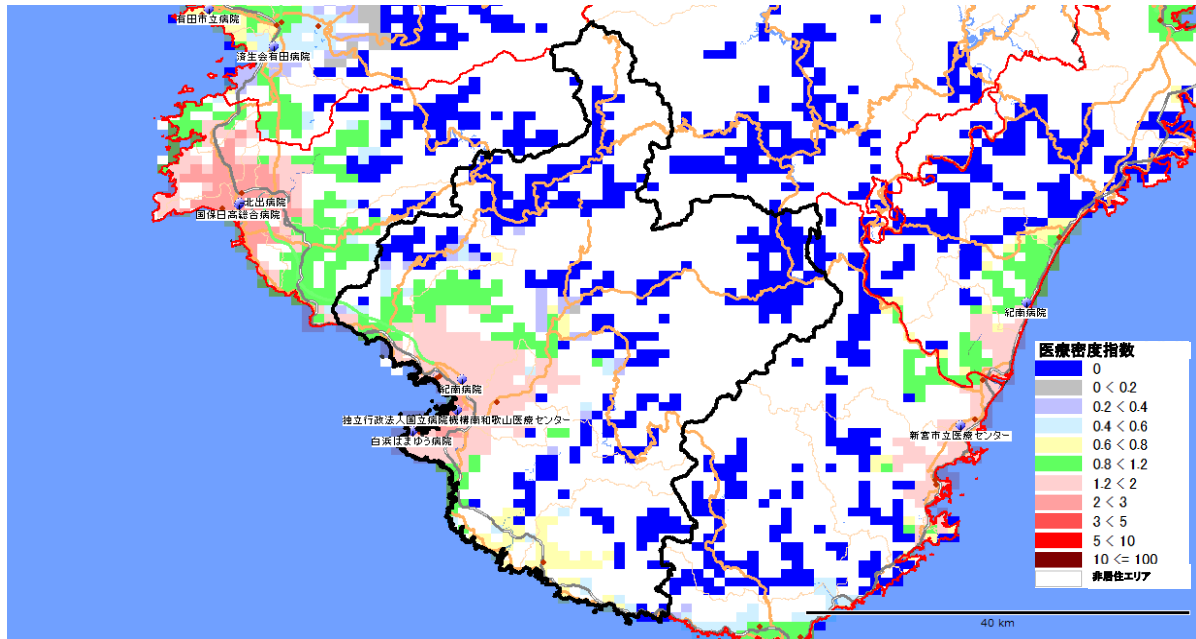
2004年の療養病床(病院+診療所)が577床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に606床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値56)と、29床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には638床(2025年の推計75歳以上1000人当たり25)になることが予想される。



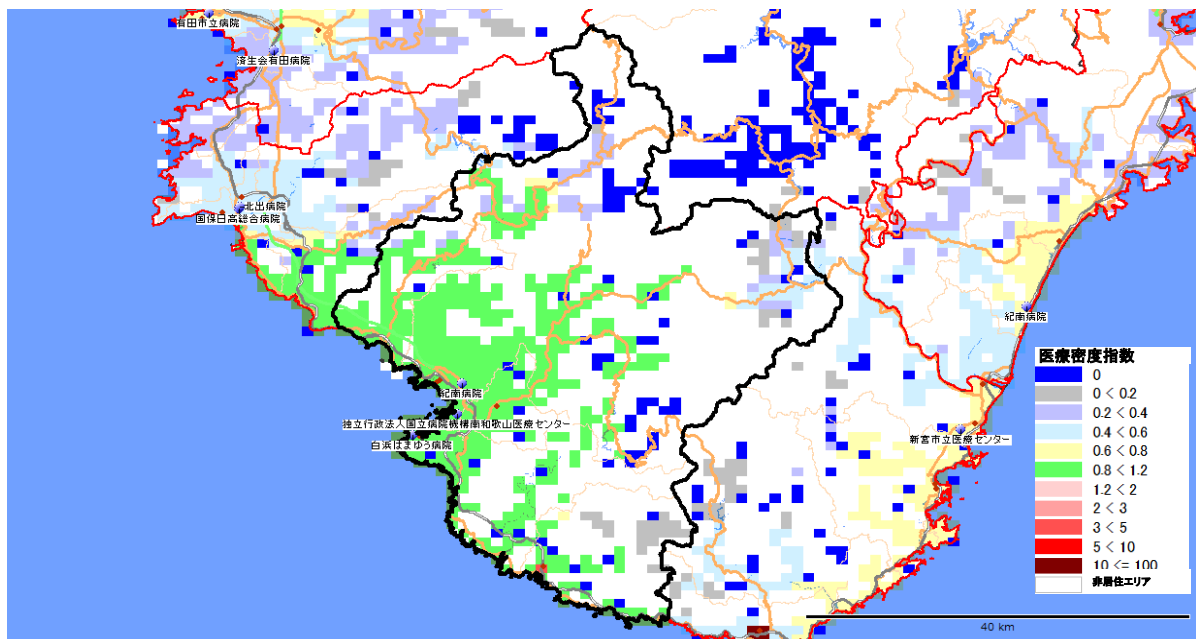


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-6-1 急性期医療密度指数マップ



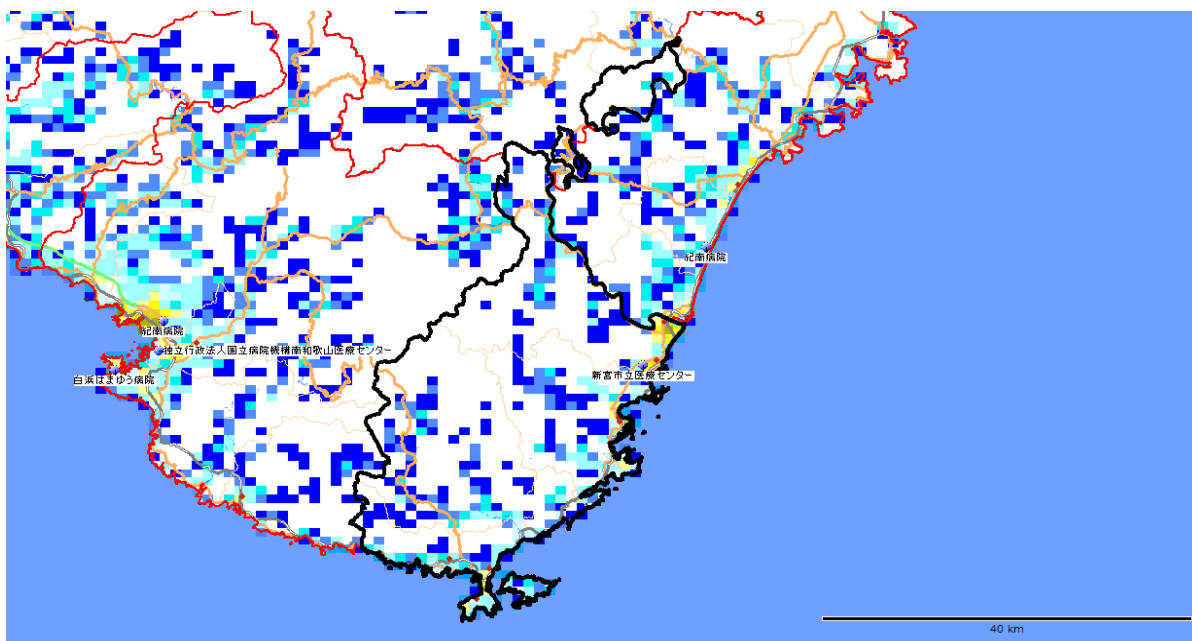
図表30-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# 30-7. しんぐう 新宮医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [新宮市](#) [那智勝浦町](#) [太地町](#) [古座川町](#)  
[北山村](#) [串本町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (新宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 新宮(新宮市)は、総人口約68千人(2015年推計)、面積923km<sup>2</sup>、人口密度は74人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 新宮の総人口は2025年に58千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に43千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 新宮の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値52)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 新宮の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.28で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が50(病院医師数47、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。新宮には、年間全身麻酔件数が500例以上の新宮市立医療センター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 新宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1183人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が962床(偏差値55)、高齢者住宅等が221床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1146人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設49、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム63、グループホーム41、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、443人(75歳以上1000人当たりの偏差値80)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

新宮医療圏の総人口は、2005年79408人が、2015年に68188人と14%減少し、2025年の人口が57562人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

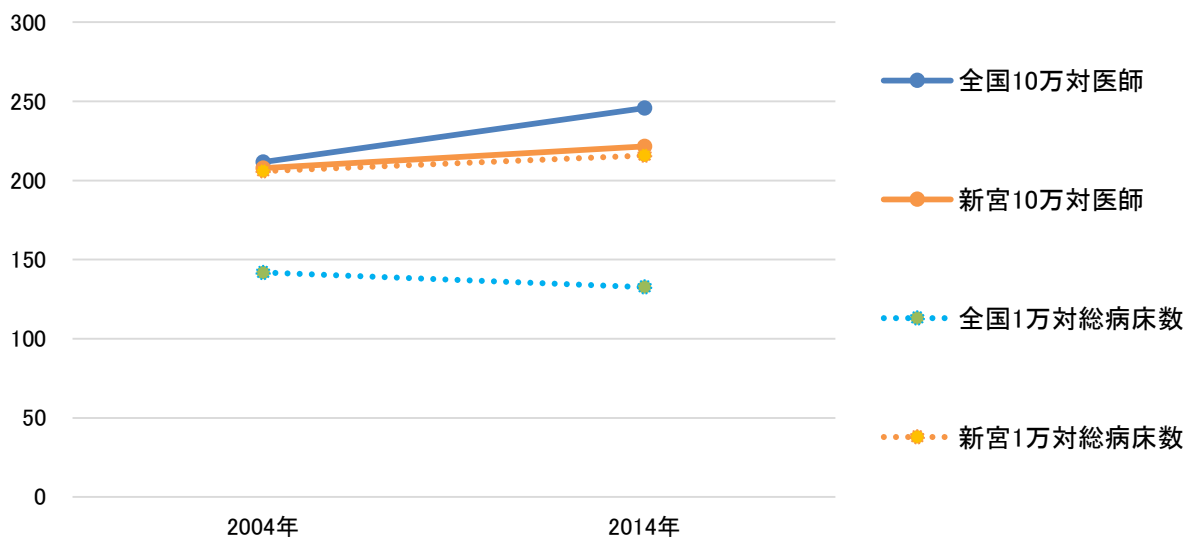
2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり99診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に73(人口10万人当たり107診療所(全国平均79)偏差値64)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1635床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1472床(人口1万人当たり216(全国平均133)偏差値65)と、163床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

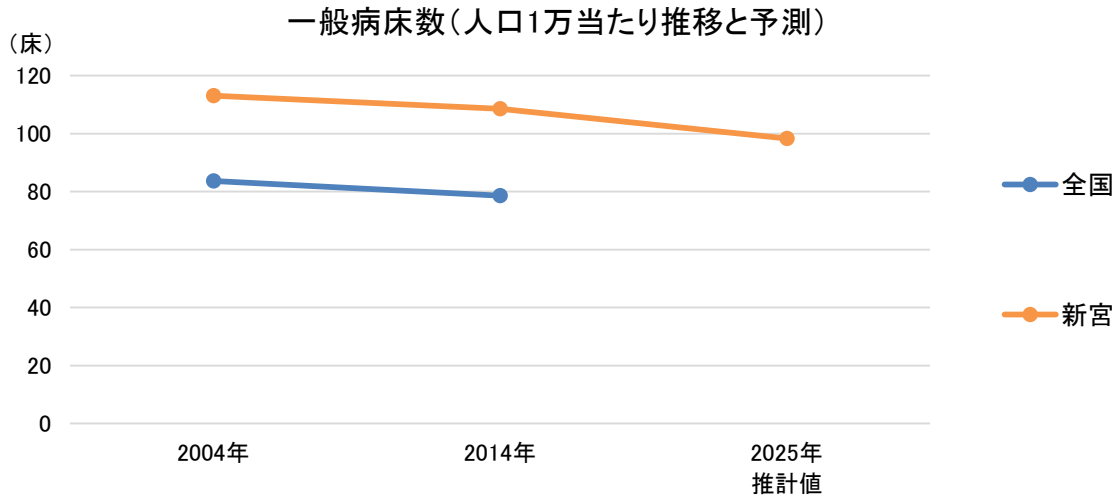
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が165人(人口10万人当たり208人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に151人(人口10万人当たり221人(全国平均246人)偏差値48)と、14人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



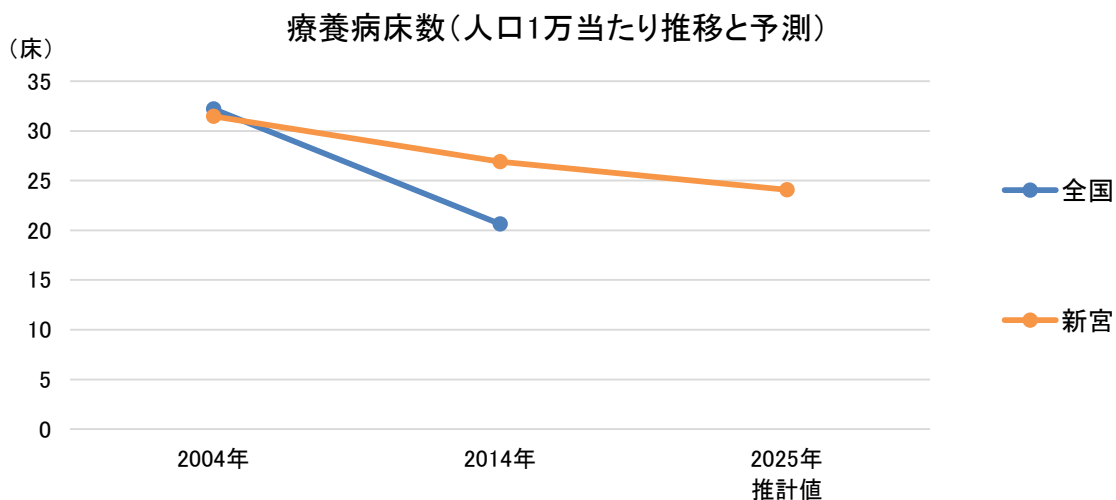
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が898床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に740床(人口1万人当たり109(全国平均79)偏差値61)と、158床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には566床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



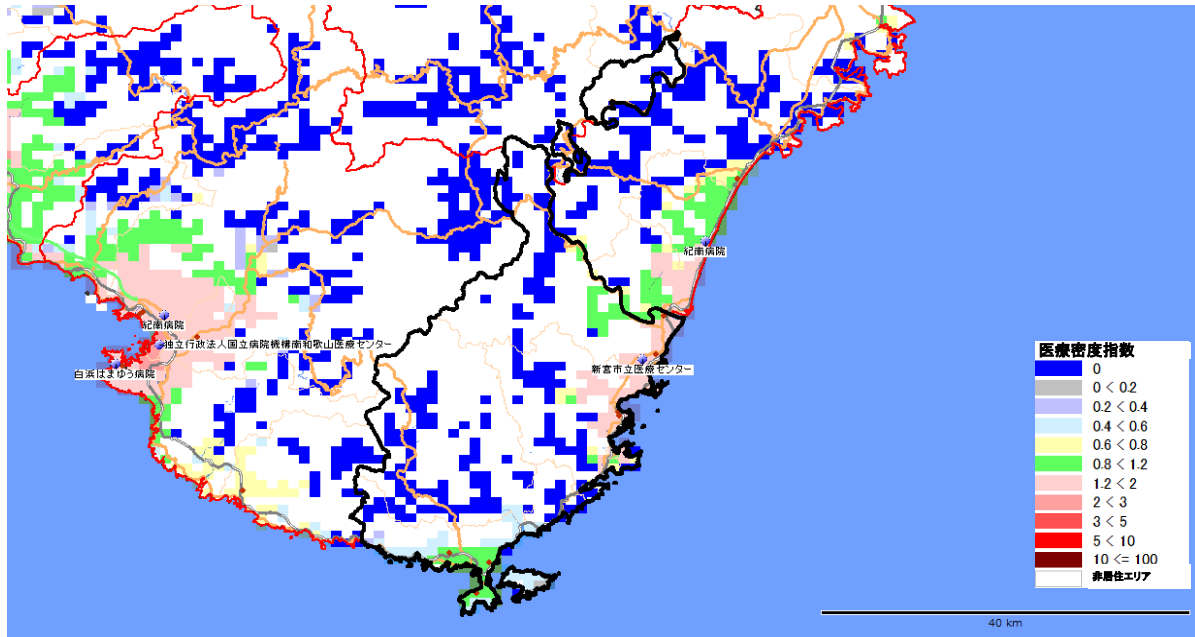
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が398床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に393床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値55)と、5床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

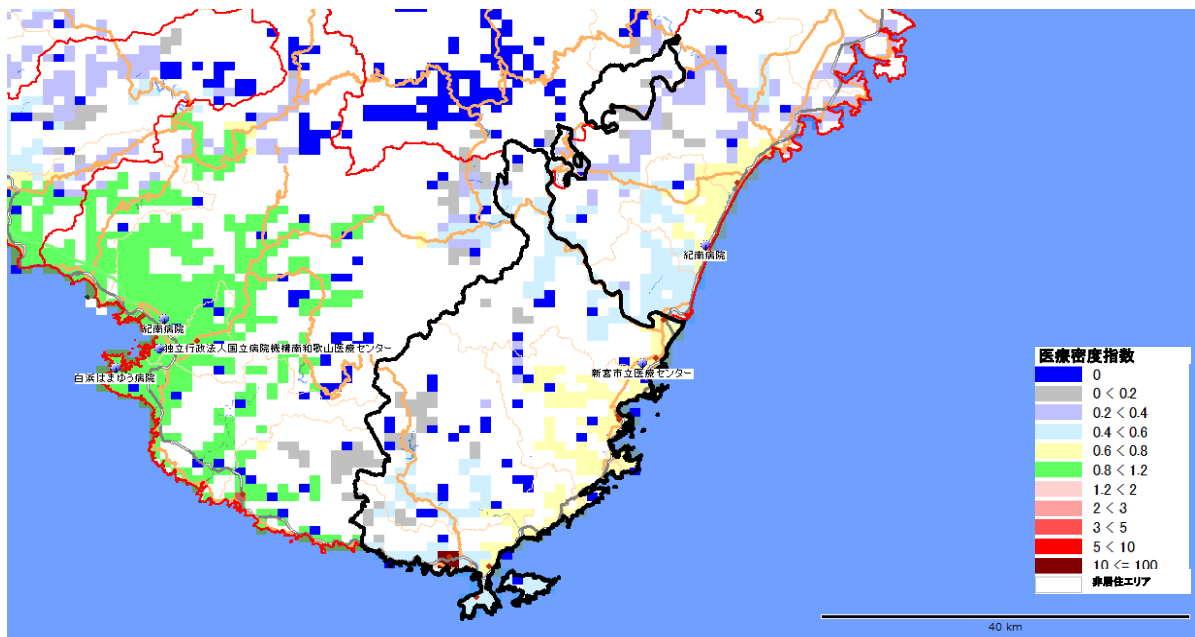


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表30-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表30-7-2 慢性期医療密度指数マップ



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。